

051386-000-7

特66-429

各個教練

竹内 武/著

M32

BFB-0085



各個教練全

竹内武著

東京軍事教育會藏版

東京軍事教育會藏版



本書ハ民衆教育年間戸山學校教育官中研究

ニシテ其注意ノ周到ナルハ既ニ軍事

新報紙上ニ於テ喝来ヲ博セシニ依テ明

ナリ尚ホ爾來需用多數ナルモ新報素ト

定數アリテ汎ク需ニ應スル能ハス依テ

今般更ニ大ニ増補訂正ヲ講ヒ且山口

戸山學校長ノ校閱ヲ經テ冊子上篇ス

特 66  
429





## 各個教練目錄

教練ヲ初ムル時機

演習時間

教官ノ注意

各個教練ノ目的

第一週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、姿勢(列内ニ於テ號令ナク次ニ號令ヲ以テ)
- 二、集合、解散(一列ノ横隊及側面)
- 三、速歩(自然ノ行進)
- 四、敬禮(列内ニテ舉手注目ノ要領)



- 五、柔軟體操(號令ナク)  
六、器械體操(號令ナク)

### 第二週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、姿勢(列外ニ呼出シ次ニ列内ニテ二三名同時ニ號令ヲ以テス)  
二、集合、解散(二列ノ横隊及側面)  
三、速歩(自然ノ行進)  
四、敬禮(頭右「左」及ヒ行進間將校ニ對スルモノ)  
五、轉回(右「左」向、半右「左」向)  
六、柔軟體操、器械體操(號令ヲ以テ)

### 第三週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、姿勢(立銃擔銃)  
二、速歩、駈歩(自然ノ行進)  
三、敬禮(行進間下士ニ對スルモノ及行進シアル時將校ニ對スルモノ)  
四、右轉回  
五、着劍、脱劍、叉銃  
六、豫行演習(架上照準徒手ニテ立射ノ姿勢)  
七、野外演習(地形ノ識別及名稱)  
八、柔軟體操(執銃)

### 第四週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、姿勢(捧銃)  
二、速歩、駈歩(速歩ハ六歩乃至八歩ノ距離ニテ正シク施行セシム)



- 三、銃ノ操法(擔銃立銃捧銃號令ナク列内ニ於テス)
- 四、足蹈、蹈替
- 五、豫行演習(架上照準徒手ニテ膝射ノ姿勢)
- 六、野外演習(地形ノ識別及名稱、距離測量)
- 七、柔軟體操(据銃演習)

### 第五週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、行進間ノ右「左」向、斜行進(號令ナク)
- 二、銃ノ操法(一人ツ、列外ニ呼出スカ或ハ列内ニテニ  
三人同時ニ施行ス)
- 三、裝填及彈藥ノ抽出(號令ナク)
- 四、敬禮(執銃)
- 五、野外演習(地物ノ利用)

六、豫行演習(引金ニ於ケル指ノ作用、托架ノ照準)

### 第六週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、行進間ノ右轉回(速歩駐歩ニテ)
- 二、充填及彈藥ノ抽出(號令ナク)
- 三、速歩及步調止
- 四、射擊姿勢
- 五、行軍中ノ膝姿、伏姿及退歩
- 六、各個ノ整頓
- 七、野外演習(散兵ノ行進停止)

### 第七週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、整列検査(立銃擔銃捧銃ノ姿勢)
- 二、速歩(徒手ニテ二人正面ノ行進及ヒ執銃ニテ各個ノ



行進)

三、裝填、充填及射擊(號令ニテ)

四、野外演習(前哨勤務復哨ノ動作)

步哨勤務第一演習

步哨勤務第二演習

步哨勤務第三演習

五、豫行演習(教練射撃ト同一ニス)

第八週ニ於ケル演習ノ課目

一、速歩、駈歩(執銃)

二、射撃(號令ナシ單發ヨリ連發及ヒ連發ヨリ單發ノ動作號令ニテ單發射撃)

三、行進間ノ裝填、充填

四、行進間ヨリ射撃ノ姿勢(立射、膝射)

五、敬禮(閱兵ノ動作)

六、野外演習(斥候勤務)

七、豫行演習(教練射撃ト同一ノ方法ヲ以テ)

第九週ニ於ケル演習ノ課目

一、二人以上ノ正面行進及伍ノ行進

二、射撃(各個射撃)

三、行進間ノ着劍、脱劍

四、野外演習(散兵教練)

五、豫行演習(實距離ニテ)

第十週ニ於ケル演習ノ課目

一、四人正面ノ分列行進



- 二、射撃(號令ニテ連發ヨリ單發ニ及ヒ單發ヨリ連發ニ移ルノ動作)
- 三、襲歩及突進
- 四、敬禮(上官ヨリ物ヲ受ケ及ヒ上官ニ物ヲ呈スル時ノ動作)
- 五、野外演習(斥候勤務)
- 六、豫行演習(連發ニ於ケル射撃)

結論

各個教練

陸軍歩兵大尉 竹内 武

緒言

將校下士ノ其部下ニ於ケル監督ニ指揮官ナルノミナラス又其教官タルヘキハ已ニ吾人ノ熟知スル處ニシテ居常熱心研究スヘキ者亦此ノ二要件ヲ完全ニラシメント欲スルニ外ナラサルベシ

且此二要件ノ研究タル必ス兩立併進スヘキ者ニシテ決シテ偏輕偏重スヘキ者ニアラス然ルニ若シ一方ニ偏シ假令ハ指揮官タルノ研究ヲ主トシテ教官タルノ研究ヲ爲サス或ハ教育ノコトノミヲ主トシテ指揮ノ要領ヲ知ラサル如キコトアラハ軍隊



精練上甚タ不利ノコトタルヲ知ル

幹部タル者ノ研究上以上掲クル所ノ二要件則チ教育及指揮ニ  
關スル所ノ者ヲシテ互ニ併進セシムルハ尤モ企望スヘキ處ナ  
リト雖トモ若シ強テ其順序ヲ求ムルナラハ余ハ寧ロ重キヲ教  
官タルノ研究ニ置クヘキコトヲ主張スルモノナリ况<sup>ハ</sup>直接  
兵卒ノ教育ニ任スヘキ中隊長以下ノ幹部ニ於テハ尤モ斯ク信  
スルナリ何トナレハ未熟ナル教官ハ決シテ完全ナル兵卒ヲ養  
成スル能ハス教育不完全ノ兵卒ハ決シテ戰鬪ノ用ヲ爲サ、レ  
ハナリ

教官ノ責任タル此ノ如ク重大ニシテ其業務タル亦甚タ困難ナ  
リ宜シク熱心ノ研究ヲ以テ其事ニ從事シ最良ノ方法ヲ求ムヘ  
キナリ若其方法ニ<sup>シ</sup>テ適當ナラス教育其要領ヲ得サルトキハ  
力ヲ勞スルコト多クシテ功ヲ奏スルコト鮮ナカルヘシ  
何ヲカ教育ノ要領ヲ得スト云フカ曰ク處スル所ノ方法、手段  
及ヒ教育ノ程度、要求、等ノ適切ナラサルヲ云フナリ則チ或  
ハ迂遠ノ方法ヲ以テ徒ラニ兵卒ヲ倦勞セシメ或ハ緩慢ノ手段  
ニ依リテ徒ラニ兵卒ヲ怠慢ナラシメ或ハ比較的高尙ナル要求  
ヲ爲シテ兵卒ヲ苦慮焦心セシメ遂ニ彼レヲシテ放心セシメ又  
ハ畏縮セシム皆是レ其要領ヲ得サルニ甚ク

夫レ教育ノ要ハ簡ヨリ繁ニ入り其體力ヲ勞スルコト少クシテ  
成績ヲ得ルコト多ク意志ヲ費スコト少クシテ理解スルコト多  
ク兵卒ヲシテ決シテ畏縮放心セシムルコトナク常ニ快活勇壯  
ノ精神ヲ保タシメ漸ク逐ヒ日ヲ積テ自然ニ養成化育スルニ在  
リ如斯ニシテ始メテ適當ノ方法ト云テ得ヘク如斯ニシテ始メ



ヲ熱練ナル教官ト云フヲ得ヘシ  
 而シテ斯クノ如ク適當ノ方法ヲ得熱練ノ教官ヲ得ルヲ又決シ  
 テ容易ノ業ニアラス其之ヲ得ルカ爲メニハ才能ノ卓逸ト熱心  
 ノ研究トヲ要スヘキハ勿論數多ノ經驗ハ又最モ必要ナリトス  
 故ニ自ラ得タル所ノ經驗及ヒ他人ノ經驗シタル所ノ説ヲ求メ  
 之レヲ論究シ是レヲ斟酌シ取捨折衷以テ益々善良適切ナル方  
 法ヲ求ムヘキナリ

之レニ反シ若シ教官タル者ニシテ研究ノ思想ナク年々歳々空  
 ヲニ經過シ終ル時ハ遂ニ一ノ得ル所ナキノミナラス日進ノ社  
 會ニ處シ決シテ世運ト併進スルコト能ハサルヘシ  
 衆ノ今茲ニ各國教練ノコトヲ論述セリト欲スルモノハ聊カ此  
 レニ依リテ教育者研究ノ資料ト爲シ又經驗アル人ノ矯正ヲ求

メ以テ益々兵卒教育改良進歩ヲ謀ラント欲スルニ外ナラス  
 而シテ此研究ヲ爲スニ當リ順序上新兵入營ヨリ毎週實施スヘ  
 キ項目ニ依リ其要求ノ程度、目的其實施ノ方法理由等ヲ説述  
 スルヲ適當ト信スルナリ是レ尤モ其要旨ヲ明ニスルニ便利ナ  
 レハナリ然レトモ其方法タル索ヨリ教官其人ニ依テ相異ナル  
 者ニシテ決シテ一定不變ノ方法アルニアラス而シテ此一定不  
 變ナラサル所ハ則チ尤モ研究上ノ興味アル所ナリトス

教練ヲ始ムル時機

講習ハ入營後第三日ヨリ始ムルヲ適當トスルナラン何トナレ  
 ハ入營當日ハ被服ノ支給、着裝、誓文、給養班ノ編制等各種  
 ノ業務アリ又入營翌日ハ室内ノ整頓ヲ爲サシメ室内及營内ノ  
 構造ヲ教ヘ其他兵卒一身上ニ關スル取調等ヲナシ又新兵ヲシ



ヲ勉メテ心配ナク自己ノ居室ニ安居シ其直屬ノ幹部及朋兵ト  
親睦ナラシムル爲メ終日室内ニ在ラシムルハ尤モ有利ニシテ  
又必要ノコトナルヘシ

演習時間

最初數日間ノ演習時間ハ午前午後共約一時半ヲ適當トスヘシ  
新兵入營ノ當時ハ從來ノ習慣全ク一變スルヲ以テ假令一時間  
ノ演習ト雖モ非常ノ勞苦ヲ感スヘシ此時ニ於ケル長時間ノ演  
習ハ其結果良効ナラサルノミナラス反テ演習ヲ忌避セシムル  
ノ意思ヲ發生セシムルノ害アリトス故ニ適當ノ時ニ於テ演習  
ヲ中止シ新兵ノ銳氣未タ盛ナルノ時ニ於テ休憩セシメ以テ絶  
ヘス其體力ト能力トヲ保持セシメ新兵ヲシテ常ニ自ラ進メテ  
其演習ニ従事スルヲ謀ル時ハ教練ノ進歩ハ反テ長時間非常ノ

勞動ヲ爲サシムル者ニ比シテ甚タ大ナル知ルヘキナリ  
其後教練日ヲ積ミ體力モ發達シ軍隊ノ動作ニ慣ル、ニ至レハ  
漸次之ヲ増加シ遂ニハ半日間約二時半ノ教練ヲ爲スニ至ラシ  
ムヘキナリ則チ第二週ニ至レハ二時間ニ第五週ニ至レハ二時  
半間ニ増加スルカ如シ此ノ如クスルトキハ新兵ハ已ニ勞苦ニ  
堪ユルノ習慣ヲ得タル後チナルヲ以テ時間ノ長キハ終ニ之ヲ  
悟ラサルニ至ルヘキナリ

教官ノ注意

第一、最初ノ演習ニ於テ教官ノ特別ニ注意スヘキコトハ自ラ  
嚴格ナル姿勢動作ヲ保ツヘキハ勿論ナレトモ其言語ハ勉メテ  
「寧ロ故ラニ」温和ノ者ヲ用ユルニアリ何トナレハ新兵ハ軍人  
慣用スル所ノ單簡ナル言語ヲ誤解シテ呵責セラル、者トナシ



迄ニ畏縮恐怖ノ念ヲ起スニ至ルノ弊アレハナリ  
 又最初ニ於テハ新兵ヲ遇スルニ勉メテ寛裕ヲ旨トシ彼レヲシ  
 テ好シテ軍務ニ従事セシムルノ感念ヲ起サシムルヲ謀ルヲ要  
 ス之レカ爲メニハ未タ軍事ニ慣レサル新兵ニ向テ強テ嚴肅ヲ  
 求ムル爲メ屢々呵責スル如キハ之ヲ避クサルヘカラス何トナ  
 レハ屢々呵責スル時ハ新兵ハ快活ノ精神ヲ失ヒ不安ノ意思ヲ  
 生シ懨懨ノ病ヲ起シ其弊ヤ遂ニ上下ヲ離隔反目セシムルニ至  
 ルヘキナリ假令ヒ之レカ爲メ外形上多少嚴肅ノ觀アルニ至ル  
 モ是レ唯外見ノ美ニ止リテ内心ニ於テハ大ニ之ニ反スルモノ  
 アリ此ノ如キハ決シテ眞正ノ軍紀ニアラサルノミナラス軍中  
 軍隊ノ爲メ甚タ有害ナルコトナリトス宜シク最初ハ寛ヲ以テ  
 之ヲ遇シ新兵ヲシテ常ニ快活ノ精神ヲ保タシメ他日眞正ノ軍

紀ヲ養成スルノ基礎ヲ造ルヘキナリ始メ多少外形上不規律ノ  
 觀アルモ決シテ憂慮スヘキコトニアラス漸次之ヲ訓練教育シ  
 テ我目的點ニ達セシムルハ敢テ困難ノコトニアラサルナリ  
 第二、各個教練トハ其名稱ノ如ク各個ノ動作ヲ教練スルニ在  
 リ故ニ教官ハ必ス新兵ノ各個各人ニ就キテ其修正ヲ爲スヲ要  
 ス全新兵ニ對シ一般ニ修正スヘキ點ヲ説明スル如キハ全ク無  
 効タルノミナラス時トシテハ之レカ爲メ反テ教練ノ進歩ヲ害  
 スルコトアリ何トナレハ全般ニ對シテ示セシコトハ二三ノ新  
 兵ノ爲メニハ全ク反對ノ結果ヲ生スル如キコトアレハナリ故  
 ニ教官ハ各人ニ就キテ其僻ヲ知悉シ其僻ノ起ル根原ヲ發見シ  
 如何ニセハ容易ニ之ヲ修正シ得ヘキヤヲ究メ尤モ適切ナル既  
 明ト適切ナル方法トニ依テ之ヲ修正スヘキナリ此修正ノ適否



ハ則チ教練ノ進歩ニ關スルコト大ナル者ニシテ教官ノ熟否ノ多分ハ此點ニ存スル者トス  
 而シテ修正ノ爲メニハ時トシテ法則外ノコトヲモ爲サシムルヲ要スルコトアリ或ハ全ク法則ト反對ノ動作ヲ爲サシムルコトアリ要スルニ速カニ各人ノ惡僻ヲ除去シテ定規ノ如ク動作セシムルヲ謀ルニアリ是レ所謂其人ニ依リ其法ヲ説ク者ニシテ則チ法則上緩ニスヘキコトモ或ハ新兵ニ依リテハ劇ニスヘシト示スヲ可トスルコトアルナラシ又法則上前ニ傾クルヲ要スル者モ新兵ニ依レハ後ニ傾クヘシト示スヲ要スルコトアルナラシ要スルニ法則ハ教官ノミ能ク之ヲ知悉シアレハ可ナルモノナリ新兵ニハ唯法則ノ如クニ動作シ得セシメテ爲メ適當ノ説明ヲ爲スヲ以テ足レリトス此ノ如ク假令同一ノ動作ト雖

トモ其人各個ニ付キ要求スヘキ條件ハ之ヲ異ニスルヲ以テ若シ新兵全般ニ對シテ云々スルカ如キコトアラハ是全ク各個教練ノ主旨ニ反スル者トス

第三、教官ノ新兵ヲ教育スルニハ成ルヘク新兵ヲシテ自ら研究セシムル如ク之ヲ誘導スルヲ必要トス之レカ爲メ新兵ノ動作ヲシテ一舉一動皆教官ノ教示ヲ待タシムルカ如ク之ヲ緊束スルコトナク唯最初ハ大體ニ於テ此ノ如ク動作スヘキ者タルコトヲ示シ其細部ニ至リテハ新兵ヲシテ如何ニシテ動作スレハ完全ナルヘキヤヲ研究セシムルニアリ此ノ如クスル時ハ新兵ハ自ら進テ研究シ勉メテ速カニ要領ヲ知得セシムコトナル者ナルヲ以テ教官ハ其力ヲ勞スルコト少クシテ教練ハ大ニ進歩スルニ至ルヘク新兵ハ勞苦ヲ感スルコト少クシテ速ニ



熟練スルニ至ルヘシ

各個教練ニ於テ直接教官ノ教授ヲ受ケサル新兵ヲシテ列中ニ置クハ此時ヲ以テ右ノ研究ヲナサシメント欲スルニ在リ故ニ新兵ハ注意シテ教官ヨリ修正ヲ受ケタル點ヲ自習スルト同時ニ如何ニナセハ尤モ完全ニ動作シ得ヘキヤヲ研究スルヲ要ス又教官ハ新兵ヲシテ此ノ如キ感念ヲ起サシムルニ至ル如ク之ヲ誘導スルヲ要ス新兵ニシテ一タヒ此ノ如キ意思ヲ生スル時ハ教官ハ屢々之ヲ督促スルヲ要セスシテ列中ノ者ハ自ラ進テ自習ヲ勉ムルニ至ルヘシ

新兵ヲシテ此ノ如キ感念ヲ起サシメシメニハ例ヘハ教官ハ一ノ新兵ヲ教育シ且其修正ヲ與エ方サニ次ノ新兵ニ移ラントスルニ際シ此新兵ニ向ヒ汝ハ余ノ再タヒ來ル迄ニ如何ニスレハ此動作ヲ完全ニ爲シ得ルカヲ研究スヘシトノ問題ヲ與フヘキナリ然ル時ハ其新兵ハ其答解ヲ求メシメ爲メ熱心ニ其方法ヲ得シコトヲ研究スルハ人情ノ然ラシムル所ニシテ次ニ教官ノ來ル迄ニハ幾分カ其要領ヲ求メ得ヘキハ知ルヘキナリ假令未タ其方法ヲ得サルトスルモ此ノ如ク研究シタル後教官ノ助言ヲ受クレハ其要領ヲ了解スルハ大ニ容易ナルモノナリトス新兵ヲシテ此ノ如キ習慣ニ養成スルハ獨リ自ラ進テ演習ニ從事セシムルノ利益アルノミナラス單ニ教官ノ教授ヲ待ツコトニノミ依頼スル者ニ比スレハ其進歩ノ著大ナルヤ必セリ

第四、教官ハ新兵ノ一舉一動皆之レヲ教育スルノ責任ヲ有ス故ニ其注意修正ハ二六時中一ノ間斷アル可ラス單ニ練兵場ニ於テノミ十分ノ修正ヲ爲スノミナラス室内ニ於テモ亦勤務ニ



履スル時ト休憩スル時ト之間ハ其起居動作等皆其教育修正  
 ナ要セサル者ナシ然ルニ若シ教官ニシテ情實の姑息ニ流レ  
 少ト雖トモ内外緩嚴ノ度ヲ異ニシ練兵場ニ於テ實行セシメ  
 ル嚴格ナル動作ヲシテ勤務上ニ於テ實施セシメス練兵場ニ於  
 テ修正シタルコトモ室内ニ於テハ之レヲ不問ニ附スル如キコ  
 トアラハ其弊ヤ甚タ大ニシテ新兵ハ遂ニ練兵場ニ於テノミ嚴  
 正ナル動作ヲ爲セハ勤務上ニ於テハ不規律ノコトヲ爲スモ不  
 可ナシトノ感念ヲ生シ所謂勤務ト演習トヲ全ク特別視スルニ  
 至ルヘキナリ此ノ如キハ眞ニ各個教練ノ目的ニ反スルモノニ  
 シテ又大ニ教練ノ進歩ヲ害スル者トス之ニ反シ若シ室内ニ於  
 テハ練兵場ノコトヲ關ミテ之レヲ修正シ練兵場ニ於テハ勤務  
 上ノコトヲ關ミテ之ヲ教育セハ勤務ト演習トヲ合一レ得ルノ

ミナラス新兵ノ教練ハ之レカ爲メ殆ソト二倍ノ教育時間ヲ有  
 スルノ理ニシテ其進歩ニ關係スルコト甚タ大ナルヲ知ルヘキ  
 ナリ況ンヤ此ノ如ク絶エス新兵一身上ノコトニ注意シ常ニ之  
 ヲ修正スルハ眞ニ教官タル者ノ責任ニ屬スルニ於テヤヤ斯ノ  
 如ク教官ニシテ親切ニ誠實ニ彼レヲ指導スル時ハ遂ニ彼レヲ  
 シテ教官ノ眞意ヲ了解セシムルヲ得ヘシ若シ然ル時ハ彼ハ好  
 テ其修正ヲ受ク注意シテ之レヲ服行スルヲ勉ムヘキナリ

各個教練ノ目的

各個教練ハ左ノ二要件ヲ達スルノ目的ヲ以テ教練スヘキモノ  
 ナリトス

- 第一、兵卒獨立ノ場合ニ於ケル動作（則チ平常ノ起居及單  
 獨ニテ勤務ニ服スル場合）



第二、上官ノ指揮下ニ於ケル動作（則チ演習及勤務ヲ問ハス號令ニ依リテ動作スル場合）

此レ各個教練ニ於テ新兵ヲ養成スルハ總テノ場合ニ於テ兵卒ノ爲スヘキ動作ヲ教練スルモノナルヲ以テナリ故ニ其動作ニ於テ決シテ勤務ト演習トノ差異アルヘキ者ニアラス而シテ之レヲシテ差異ナカラシメンカ爲メニハ其教育ノ方法ニ於テハ左ノ要領ニ從フヲ適當トス則チ

最初ニハ號令ニ依ラス各個ニ確實ニ其要領動作ヲ熟知セシム

次ニ號令ニ依リテ其動作ヲ書一ニ實施セシム

此ノ如クスルトキハ其號令ニ依ラスシテ實施スル動作ハ猶ホ諸勤務ノ時單獨ヲ以テ實施スル動作ノ要領ニ適合シ號令ニ依

ル動作ハ猶ホ演習ノ時ニ於ケル動作ニ適合スル者トス

又右ノ方法ニ從フ時ハ教育ノ順序ニ於テ簡ヨリ繁ニ入ルヘシトノ原則ニ適スル者タルヲ信スルナリ何トナレハ未ダ一ノ要領ヲモ熟知セサル新兵ニ向ヒ最初ヨリ號令ニ應シテ書一ニ動作セシムルハ望ムヘカラサルコトナルヲ以テナリ



### 第一週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、姿勢 (列内ニ於テ號令ナク次ニ號令ヲ以テ)
- 二、集合解散 (一列ノ横隊及側面)
- 三、速歩 (自然ノ行進)
- 四、敬禮 (列内ニテ舉手注目ノ要領)
- 五、柔軟體操 (號令ナク)
- 六、器械體操 (號令ナク)

#### 第一 姿勢

不動ノ姿勢ヲ教ユルニ當リテハ新兵ヲシテ先ツ此姿勢ハ兵卒平常ノ起居勤務ノ時及演習上氣ヲ着クノ號令アル時取ルヘキ姿勢タルコトヲ確實ニ了解セシムルヲ要ス之レカ爲メ最初ノ

教練ニ於テハ先ツ兵卒ヲシテ上官ヨリ呼ハレタル時及上官ニ  
 應答スル場合ニ於テ取ルヘキ動作ヲ教練スルノ目的ヲ以テ號  
 令ニ依ラスシテ之ヲ實施スヘシ又此ノ如ク號令ヲ用ヒスシテ  
 動作セシムレハ兵卒ハ幾分ノ猶豫ヲ得ルヲ以テ此姿勢ヲ取ル  
 爲メ自ラ準備スルノ時間ヲ有シ爲メニ大ニ其要領ヲ理解スル  
 ノ便ヲ得ヘク又他日號令ニ依リテ畫一ニ動作スルノ豫行トナ  
 ルヲ得ヘシ

#### 隊形及ヒ説明

新兵ヲシテ一步間隔ノ一列横隊トナシ教官ハ左ノ説明ヲナス  
 余ハ汝等ノ前面ニ立テ汝ノ姓名ヲ呼ハシ其時汝等ハ活音ヲ  
 以テ「ハイ」ト答ヘ兩踵ヲ揃ヘテ余ノ姿勢ノ如ク眞直ニ立テ  
 説明ハ此ノ如クニテ十分ナリ決シテ操典ノ明文ヲ細説スルヲ



要セス殊ニ新兵ニ向テ如何ニ綿密ナル説明ヲ爲スモ徒ニ時間ヲ徒費スルノミニシテ説明ヲ以テ要領ヲ了解スル者ハ殆ソト無シト云モ可ナリ故ニ先ツ兎ニ角其姿勢ヲ取ラシメ實際ニ就テ其不充ナル點ヲ修正スルヲ適當トス其他ノ諸演習ニ於テモ此注意ハ尤モ必要ノコトナリトス

實 施

教官ハ一番ノ前ニ立テ姓名ヲ呼フ一番ノ新兵ハ「はい」ト答フルト同時ニ直立ス依テ其姿勢ニ應シテ甚シキ不正ノ點ヲ修正シ尙此ノ點ノ正シク取り得ルニ至ルマテ自習スヘキコトヲ命シテ直ニ二番ノ新兵ニ移ル此ノ如クニシテ最終ノ新兵ニ至リ又更ニ一番ヨリ同一ノコトヲ復行ス  
新兵ニシテ答辭ヲ發シ姿勢ヲ取ルニ稍々熟練スルニ至レハ教

官ハ姓名ヲ呼フニ代フルニ或ハ其姓名ヲ問ヒ或ハ中隊號ヲ問フ等兵卒獨立シ在ル時上官ニ應對スヘキ各種ノ場合ヲ想定シテ一ノ談話ヲ試ミ新兵ヲシテ之ニ應シテ直ニ姿勢ヲ正スニ慣レシムヘシ之レ諸勤務ニ於テ兵卒ノ實際屢々爲スヲ要スル動作ナリトス

此ノ如ク教練シテ新兵稍々其姿勢ヲ了解スルニ至レハ號令ニ應シテ姿勢ヲ取ルコトヲ教練ス此時教官ハ左ノ如ク説明スレハ足レリトス

今汝ノ保テル姿勢ハ則チ氣ヲ着クノ號令アルトキ保ツヘキ姿勢ナリ

此レヲ實施スルニハ教官ハ右翼ヨリ順次各個ニ號令ヲ下シテ姿勢ヲ取ラシム此時ニ於テ休メノ要領ヲモ教ユルモノトス



本週ニ於テハ未タ列外ニ呼出スコトヲ爲ササルヲ以テ適當ト  
ス之レ行進間ヨリ直ニ姿勢ヲ正スコトハ稍困難ノ動作ナルヲ以  
テ本週ニ於テハ未タ新兵ニ望ムヘカラサルコトナリトス  
此ノ如キ順序ニ依リ數回ノ教練ヲ實施セハ新兵ハ此姿勢ハ如  
何ナル場合ニ於テモ常ニ取ルヘキ者タルコトヲ自然ニ了解ス  
ルヲ得ヘシ

第二 集合解散

此演習ノ目的ハ迅速ニ所命ノ地點ニ於テ指示セル隊形ヲ取ル  
コトニ慣レシムルニアリ其他此演習ハ左ノ二目的ノ爲メ尤モ  
適當ナル教練ナリトス

第一、運動ヲシテ輕快ナラシム

第二、活潑ナル精神ヲ保タシム

新兵入營ノ最初ニ於テハ其動作多クハ緩慢ニシテ且混雜スル  
ヲ免レス故ニ之ヲシテ尤モ輕捷ニ且整正ニ動作スルコトヲ講  
成スルハ教練上尤モ必要ノコトナリトス

其他新兵入營ノ最初ニ於テハ比較的嚴格ナル教練ノ爲メ假令  
其時間僅少ナルニ拘ラス其意思ニ退屈ヲ生シ一時快活勇壯  
ノ氣概ヲ失フニ至ルコトアリ此時ニ當リ其志氣ヲ振起シ其氣  
力ヲ恢復シ再ヒ活潑ノ精神ニ復セシメンニハ尤モ壯快ナル運  
動ヲ爲サシムルヲ要ス之カ爲メニハ此集合解散ノ演習ハ尤モ  
適切ナル者ナリトス

隊形及ヒ説明

教官ハ先ツ新兵ヲシテ一列側面(橫隊)ノ隊形ヲ作ラシメ次ニ  
左ノ如ク説明ス

第一連



汝等ハ余カ一列側面(横隊)ニ集マレノ號令ニテ余ヲ去ル六  
歩ノ地ニ尤モ速ニ此ノ如キ隊形ニ集マルヘシ

實 施

教官駈走ヲ以テ甲ノ地點ニ立チ一列横隊ニ集マレノ號令ヲ以  
テ新兵ヲ一列ノ横隊ニ集合セシメ又忽チニ乙ノ地點ニ移リテ  
一列ノ側面ヲ作ラシム又忽チニ丙ノ地點ニ於テ一列ノ横隊ヲ  
作ラシム此ノ如ク尤モ迅速ニ且快活ノ方法ニ依リ新兵ヲシテ  
尤モ愉快ニ尤モ勇壯ニ動作セシムヘシ  
此動作ヲ爲スニ當リ最初ニ於テ新兵ハ時トシテ笑聲ヲ發シ或  
ハ發聲ヲ爲ス等多少不規律ノ觀アル者トス然レトク深ク之ヲ  
督ムルコトナク寧ク之レニ許スニ幾分ノ自由ヲ以テシ猶無邪  
氣ナル小兒ノ遊戯ヲ爲スカ如キ感念ヲ以テ之ヲ實施セシムヘ

シ然ル時ハ新兵ハ心中大ニ愉快ヲ生シ尤モ活潑ナル動作ヲ爲  
スニ至ルモノトス新兵ヲシテ常ニ愉快ナル意思ヲ保タシメ活  
躍ナル動作ヲ爲サシムルハ教練ノ進歩ニ於テ最モ必要ナルコ  
トニシテ最初ニ於ケル多少不規律ノ如キコトハ軍紀ニ慣レ教  
練ニ熟練スルニ從ヒ漸次之レヲ正整ナラシムルハ容易ナルコ  
トナリトス

第三 速 歩

歩法ノ教練ハ決シテ急速ニスルコトナク自然ニ之ヲ誘導スル  
ハ尤モ必要ナル手段ナリトス元來始メテ入營セシ新兵ハ其服  
裝、着靴、等全ク從來ノ習慣ヲ一變スルヲ以テ其姿勢、足ノ操  
作、手ノ振動及ヒ他ノ兵卒ト同一ノ步調ニテ行進スルコト等  
越テ要求ノ如クナラサルハ勿論ノコトニシテ之レヲ修正シテ



正規ノ歩法ヲ取ルニ至ラシムルニハ尤モ適當ノ方法ニ依ラサ  
 ルヘカラス則チ其順序ハ最初ニ於テ先ツ活潑ニ手ヲ振り同一  
 ノ歩調ヲ取リテ行進スルコトヲ教練シ次ニ上體及着眼點ヲ修  
 正シ以上ノ要領稍々熟スルノ後始メテ足ノ操作ヲ修正スルニ  
 アリ若シ此順序ニ依ラス入營ノ最初ニシテ未タ姿勢ノ何タル  
 ヲ解セサル新兵ニ向ヒ直ニ完全ナル行進ノ動作ヲ教練セント  
 欲スルカ如キハ決シテ出來得可カラサルコトニシテ况<sub>レ</sub>ヤ遲  
 舉動ノ行進或ハ舉動ヲ區別シテ爲ス歩法ノ如キ綿密ナルコト  
 ハ到底新兵ノ理解シ得ヘキコトニアラス假リニ一歩ヲ譲リテ  
 新兵ニシテ能ク之ヲ理解シ得ルトスルモ強テ此ノ如キ教育方  
 法ヲ取ルノ弊害ハ新兵ヲシテ歩法ハ非常ニ困難ナリトノ誤解  
 ヲ起サシメ爲メニ無用ノ苦心ヲ爲サシメ遂ニハ自由ナル行進

ヲ爲ス能ハサルニ至ラシム元來歩法ハ實際如斯困難ナル者ニ  
 アラスシテ要スルニ自然ノ要領中二三ノ規定ヲ爲セシ者ニ外  
 ナラサルナリ故ニ演習ノ經過ヲ急速ナラシメス自然ノ行進中  
 ニ於テ漸次誘導教練セハ過半ノ新兵ハ知ラス職ラス適當ナル  
 歩法ヲ取リ得ルニ至ルハ余ノ實驗ニ於テ知ル所ナリ然レトモ  
 時トシテ舉動ヲ分解シ或ハ膝ヲ高く上クル等格種ノ手段ヲ用  
 ニルコトナキニアラスト雖トモ之レ畢竟新兵中此ノ如クセサ  
 レハ歩法ヲ了解セサル二三ノ者ニ對シテ萬止ムヲ得スシテ用ユ  
 ル手段ニシテ決シテ全般ノ者ニ對シテ行ナハシムヘキ手段ニ  
 アラス然ルニ人若シ全新兵ニ對シテ強テ此ノ如キ手段ヲ取ラシ  
 ムル如キコトアラハ誤解ノ甚シキ者ナルノミナラス其弊ヤ古  
 其ニ至ルモ尙其習慣ヲ脱スル能ハス遂ニハ異様ノ歩法ヲ爲ス



キ至ルヘシ其他教練ニ當テハ此手段ノ爲メ反テ上體ヲ凝固ナ  
ラシメ大ニ不進歩ヲ來ス等余ハ遂ニ其利益ノ點ヲ發見スルコ  
ト能ハサルナリ宜シク漸次之ヲ修正シ自然ニ之ヲ誘導スルヲ  
勉ムヘキナリ此ノ如キ要領ニ依ルモ四五週日ノ後ニハ過半ノ  
者ハ正規ノ如ク行進シ得ルニ至ルヘク眞ニ歩法教練ニ於ケル  
適當ナル方法ナリト信スルナリ

實 施

右ノ旨趣ニ依リ本週ニ於テハ左ノ要領ニ從フモノトス  
新兵ヲ一列ノ側面トナシ上等兵ヲ先頭ニ附シテ行進セシム此  
時上體及足等ハ皆自然ニ任セ又各兵ノ距離モ約五六歩ヲ有セ  
シムルモ服テ同一ナルヲ要セス應同一ノ歩調ヲ以テ先行兵ニ  
續行シ濶歩ヲ以テ階級ニ兩手ヲ振リテ行進セシム此ノ如クシ

テ後チ稍々之ヲ爲シ得ルニ至レハ始メテ上體ノ修正ヲ爲シ又  
着眼點等ヲ修正ス又演習場ノ都合ニ依リテハ教官ハ某一點ニ  
停止シアリテ新兵ヲシテ其周圍ヲ圍形ニ行進セシメ我カ前面  
ニ來ルモノニ向テ逐次ニ修正ヲ爲スヲ便トスルコトアリ何ト  
ナレハ此ノ如クスルトキハ屢々新兵ノ已レノ前面ニ來ルヘキ  
ヲ以テ多ク修正ヲ與フルノ時機ヲ得レハナリ

第四 敬 禮

敬禮ハ軍紀ノ反射鏡トモ云フヘキ者ニシテ兵卒獨立スル場合  
ニ於テ尤モ必要ノコトナリトス故ニ尤モ綿密ニ教練スルヲ要  
ス之カ爲メ逐次ニ各種ノ場合ニ於ケル敬禮ノ動作ヲ演習スヘ  
シ而シテ最初ニ於テハ先ツ最モ單純ナル動作則チ停止シアル時  
右手ヲ舉ク及ヒ受禮者ニ注目スルノ要領ヲ教練ス



隊形及説明

新兵ヲ一步間隔ノ一列横隊トナシ教官ハ左ノ如ク説明ヲ爲ス  
汝等ハ余カ汝ノ前面ニ至ル時如斯(教官模範ヲ示ス)右手  
ヲ舉ケ汝ノ目ニテ余ノ目ヲ視ルヘシ

實 施

教官ハ姿勢ノ時ニ述ヘタル要領ニ從ヒ右翼ヨリ逐次ニ教練ヲ  
爲ス其最初ニ於テ新兵ハ漸ク手ヲ舉クルコトヲ爲シ得ルヲ以  
テ足レリトス教官ハ其手ノ向ク方ヲ修正シ且尙之レヲ自習ス  
ヘキヲ命シテ一順ノ教練ヲ爲ス而シテ次回ニ來リシトキ手ノ  
舉ク方正シキニ至レハ始メテ之レト同時ニ注目ノ如何ヲ修正  
ス此ノ如ク數回教練ノ後舉手注目ノ法稍々正シキニ至レハ終  
ニ其姿勢ヲモ修正ス

如斯キ方法ニ從ヒ一教練時間成ルヘク多ク巡回修正ヲ爲スト  
キハ假令理解力ノ乏シキ新兵ト雖モ大ニ自ラ研習ヲ爲シ得ル  
ノ猶豫アル爲リニ容易ニ正シキ要領ヲ得ルニ至ルヘシ之レニ  
反シテ若シ最初ヨリ全部ノ完全ナルヲ望ムテ長時間一人ノ新  
兵ヲ修正スルニ費シ從テ其時間他ノ新兵ヲシテ空シク教官ノ  
來ルヲ待タシムル如キハ教育セラル、新兵モ直ニ其要領ヲ解  
スル能ハサルノミナラス教官ヲ待ツ所ノ新兵ニ遂ニ怠慢ノ意  
ヲ生スルニ至リ彼此共ニ教練ノ不進歩ヲ來スヘシ宜シク迅速  
ニ一二要點ヲ修正シテ次ノ新兵ニ移リ以テ屢々巡回シテ一般  
ノ新兵ヲシテ常ニ其注意ヲ怠タラシメス其巡回ノ回数加ハル  
ニ從ヒ始メテ修正ノ完全ナルヲ期スヘキナリ此レ教練上尤モ  
適當ノ手段ニシテ此ノ要領ハ獨リ敬禮ニ於ケルノミナラス諸



般ノ演習ニ於テ皆然リトス

第五 柔軟體操

新兵入營ノ最初ニ於テハ從來ノ習慣上多クハ其體操凝固ニシテ各部ノ運動自由ナラサル者多シ而シテ之レヲ矯正シテ終ニ自由ニ活動スルヲ得ルニ至ラシムルモノハ實ニ柔軟體操ノ効用ナリ故ニ入營ノ最初ニ於テハ主トシテ體操ヲ演習セシムルヲ要ス是レ此後各種ノ教練ヲ爲スニ當リ大ニ補益アルモノナレハナリ

體操ヲ以テ體操ヲ柔軟ナラシメントスルニハ成ルヘク多ク上下屈伸ノ運動ヲ爲サシムルヲ可トス然ルニ此教練ヲ爲スニ當リ他ノ諸教練ト同シク其各舉動ノ正確ヲ求ムル爲メ一人ツ、列外ニ呼出シテ實施セシメ爲メニ他ノ者ハ長ク順番ノ來タル

ヲ待タシメ或ハ全部隊ヲ合シテ實施スルモ各人ノ修正ヲ終ル迄テ永ク某一舉動ノ姿勢ヲ保タシムル等ニシテ一教練時間僅々二三回ノ運動ヲ爲スノミニシテ教練ヲ終ルカ如キハ全ク體操ノ目的ニ反ス

故ニ此教練ノ爲メニハ他ノ各個教練ト稍々其方法ヲ異ニシ假令最初ニ於テハ多少教練ノ如クナラスシテ上下左右ノ偏避アルモ暫ク之ヲ恕シ勉メテ多ク運動セシムルノ目的ヲ以テ其方法ヲ撰定スルヲ適當トス此ノ如キハ稍々不規則ノ外見アリト雖モ體操ノ目的ニ叶フモノト云フヘキナリ而シテ多少不規則ノ如キ者モ少シク要領ヲ解スルニ至レハ教練ニ示セル如ク確實ニ實施シ得ルニ至ラシムルハ敢テ難キニアラサルナリ左ニ述フル所ノ方法ハ右ノ要旨ニ適スルモノトス



隊形及説明

新兵ヲ三步間隔ノ一列横隊トナシ教官ハ左ノ如ク説明ス

各兵ハ余ノ止メト令スルマテ如斯運動(教官其模範ヲ示ス)

ヲ爲セ

實 施

最初ニ於テハ敢テ號令ヲ教ユルノ要ナク唯其動作ノミヲ爲サシムヘシ號令ハ其後之レヲ教ユレハ可ナリ

各兵ハ各自ニ教官ノ示セル運動ヲ連続ス教官ハ一番ヨリ逐次ニ巡回シテ之ヲ修正ス新兵ノ體力ヲ顧慮シ休憩セシムルヲ要スルニ至レハ教官ハ止メノ令ヲ下ス

右ノ如ク教官ハ號令ヲ下スコトナク新兵ヲシテ各自隨意ニ動作セシムルヲ以テ索ヨリ全教育班齊一ナルコト能ハス然レト

モ此時期ニ於テハ決シテ齊一ニスルヲ望マサルナリ唯新兵ヲシテ專ラ修正ヲ受ケタル點ニ注意シ如何ニセハ正規ノ如ク動作シ得ルカヲ各自ニ研究セシムルニアリ又教官ハ同時ニ各部ノ修正ヲ爲サス巡回シ來ルニ從ヒ漸次完全ニ至ル如ク一部ツ、修正スヘシ之レ新兵ノ意中ニ混雜ヲ生セサラシメシカ爲メナリ

第六 器械體操

本週ニ於ケル器械體操ノ目的モ柔軟體操ト同一ニシテ器械ノ補助ニ依リテ身體ノ凝固ヲ解クニアリ故ニ決シテ巧妙ナル運動ヲ教ユルコトナク危険ナル動作ヲ爲サシムルコトナク只鐵棒柵等ニテ懸垂ノ運動ヲ爲サシムルヲ以テ足レリトス若シ強ク危険ノコトヲ爲サシムル如キコトアラハ兵卒ヲシテ危険ノ



念ヲ起サシメ遂ニ之ヲ忌避スルニ至ラシムヘシ

實 施

實施ニ於テモ最初ハ教範ニ示スカ如キ號令ヲ要セス唯新兵ヲシテ各個ニ之レヲ實施セシメ且演習ノ回数ヲシテ成ルヘク多カラシムルヲ勉ムヘシ



第二週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、姿勢 (列外ニ呼出シ次ニ列内ニテ二三名同時ニ號令ヲ以テス)
- 二、集合、解散 (二列ノ横隊及側面)
- 三、速歩 (自然ノ行進)
- 四、敬禮 (頭「右」左及ヒ行進間將校ニ對スルモノ)
- 五、轉回 (右「左」向、半右「左」向)
- 六、柔軟體操 器械體操 (號令ヲ以テ)

第一 姿 勢

本週ニ於テハ第一週ニ於テ教練セシ所ノ停止間ニ取リタル姿勢ヲシテ行進中ヨリ停止スル際直ニ確實ニ之ヲ保ツコトニ慣

第二週



レシムルヲ目的トシテ教練ス是レ勤務其他ノ時ニ於テ遠ク上官ヨリ呼ハレタルトキ兵卒ノ取ルヘキ動作ナリトス其他復習ニ際シテハ號令ニ應シテ直ニ此姿勢ヲ取ルコトヲ教練ス

隊形及説明

新兵ハ一歩間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス

余ハ汝等ノ姓名ヲ呼フヘシ汝等ハ活音ニテ返辭ヲナシ駈歩ニテ余ノ前面約六歩ノ所ニ至リ余ニ正面シテ立チ姿勢ヲ正シテ余ニ注目スヘシ

實施

教官ハ右翼ヨリ逐次ニ姓名ヲ呼フ新兵ハ駈歩ヲ取り教官ニ面シテ停止スルヤ直ニ正規ノ姿勢ヲ取ル

此時教官ハ二三ノ修正ヲナシ直ニ之ヲ列中ニ歸ラシム但シ修

正ヲ受ケタル點ハ之ヲ自習スヘキヲ命スヘシ次ニ直ニ第二ノ新兵ヲ呼出ス此ノ如クシテ決シテ一人ノ爲メニ永キ時間ヲ費スヘカラス

此演習ノ目的ハ新兵ヲシテ上官ニ對スル時ハ常ニ此ノ如ク正シク正面スルモノナルコトヲ教練スルニアリ故ニ若シ新兵ニシテ正シク教官ニ對シテ正面セサルカ或ハ停止シテ後直ニ休メノ姿勢ヲ取り教官ノ號令ヲ待チ正規ノ姿勢ヲ取ル如キハ全ク前述ノ趣旨ヲ誤解スルモノナリ

又本週ニ於テ姿勢ノ復習ヲ爲スニハ新兵ハ列中ニ在ラシメ號令ヲ以テ二三名同時ニ之レヲ教練スルヲ得ヘシ何トナレハ此時期ニ至レハ新兵己ニ稍其要領ヲ了解シタルノ後ナルヲ以テ二三人同時ニ之レヲ修正スルハ困難ノコトニアラス然レトモ



要スレハ各個ニ之レヲ行ヒ以テ十分其要領ヲ了解セシムヘシ

第二 集合解散

本週ニ於ケル此演習ノ目的モ亦前週ニ於テ述ヘタル者ニ異ナルコトナシ然レトモ前週ニ於テ多少許シタル自由モ本週ニ於テハ稍之レヲ嚴正ナラシムヘシ之レ軍人ノ動作ハ決シテ不規律ナル者ニアラス殊ニ集合ノ動作ハ靜肅且ツ迅速ニ爲レ得ル如ク教練スルハ殊ニ必要ノコトナレハナリ

然レトモ前ニモ述ヘタル如ク新兵ヲシテ常ニ勇壯活潑ノ氣概ヲ保タシムルコトハ必要ナルヲ以テ劇カニ過度ニ束縛シテ究屈ノ威念ヲ起サシムハカラス要スルニ新兵ヲシテ軍人ノ動作ハ常ニ此ノ如ク嚴正ナルヲ要スルノ趣旨ヲ理解セシメ以テ漸次在郷中ノ習慣ヲ破リ自然ニ動作ノ嚴正ナルニ至ルヲ期スヘ

キナリ

一列ニ於ケル諸動作ハ前週已ニ教練セリ故ニ本週ニ於テハ二列ニ於ケル動作ヲ教練スヘシ第三週以下ニ於テ此ノ演習ハ特別ノ時間ヲ定メテ之レヲ教練スルヲ要セス唯日課變更ノ時機ヲ利用シテ迅速嚴正ニ之レヲ施行シ以テ前述スル所ノ二目的ニ合スルヲ謀ルヘキナリ

第三 速歩

本週ニ至レハ新兵ハ稍々歩法ヲ了解スルニ至ルヘシ故ニ其實施ノ要領ハ稍前週ニ述ヘタル如ク施行スヘシト雖トモ其ノ修正ノ度ハ一層之ヲ綿密ニシ殊ニ上體ノ保持、着眼點ニ注意シ又足ノ操作ヲモ漸次之ヲ修正スヘシ然レトモ未タ能クシ得サル新兵ニ對シテハ強テ之ヲ要求スヘカラス何トナレハ此ノ如



キハ單ニ時間ヲ徒費スルニ過キサル者ニシテ尙ホ數日ヲ經過セハ多ク勞スルコトナクシテ善良ノ域ニ至ルヘキナリ

第四 敬禮

本週ニ於テハ行進中頭右(左)ノ敬禮及行進中將校ニ對スル敬禮ヲ演習スルテ演習實施ノ方法ハ新兵ヲシテ間斷ナク其動作ヲ爲サシメ又教官ハ一點ニ停止シ在ルモ容易ニ修正ヲナシ得ル如ク實施スルヲ以テ便利且利益ナリトス又教官ハ一時ニ全部ノ修正ヲナサスレテ一回毎ニ主ナル目的ヲ定メ新兵ノ已レカ前面ヲ通過スルノ間ニ於テ專ラ其目的點ニ注意シテ之レカ修正ヲ爲シ漸次回數ノ加ハルニ從ヒ始メテ全部ノ修正ヲ完全ニスルカ如クナス可キナリ實ニ此要領ニ從エハ教官及兵卒ハ勞スルコト少クシテ益スルコト多カルヘシ

左ニ示セル方法ハ此要領ニ適スルモノナリ

隊形及說明

新兵ヲシテ一歩間隔ニ於クル一列横隊トナシ教官ハ左ノ如ク說明ヲ爲ス

汝等ハ各自ニ前進シ余ヲ距ル三步ノ地ニ至レハ頭右(左)ヲナシ余ノ目ニ注目シ余ヲ過キ去ル三步ニシテ頭ヲ正面ニ復スヘシ(此時上等兵ヲシテ此動作ヲ爲サシメ以テ其模範ヲ示ス)

又右翼兵余ノ前ヲ通過シ終レハ次ノ兵ハ直ニ同一ノ動作ヲ起スヘシ

實施



一番ノ新兵ハ直ニ行進ヲ起シ指示ノ點ニ至レハ號令ヲ  
新兵ノ到着地點

頭ヲ正面ニ復スル地點

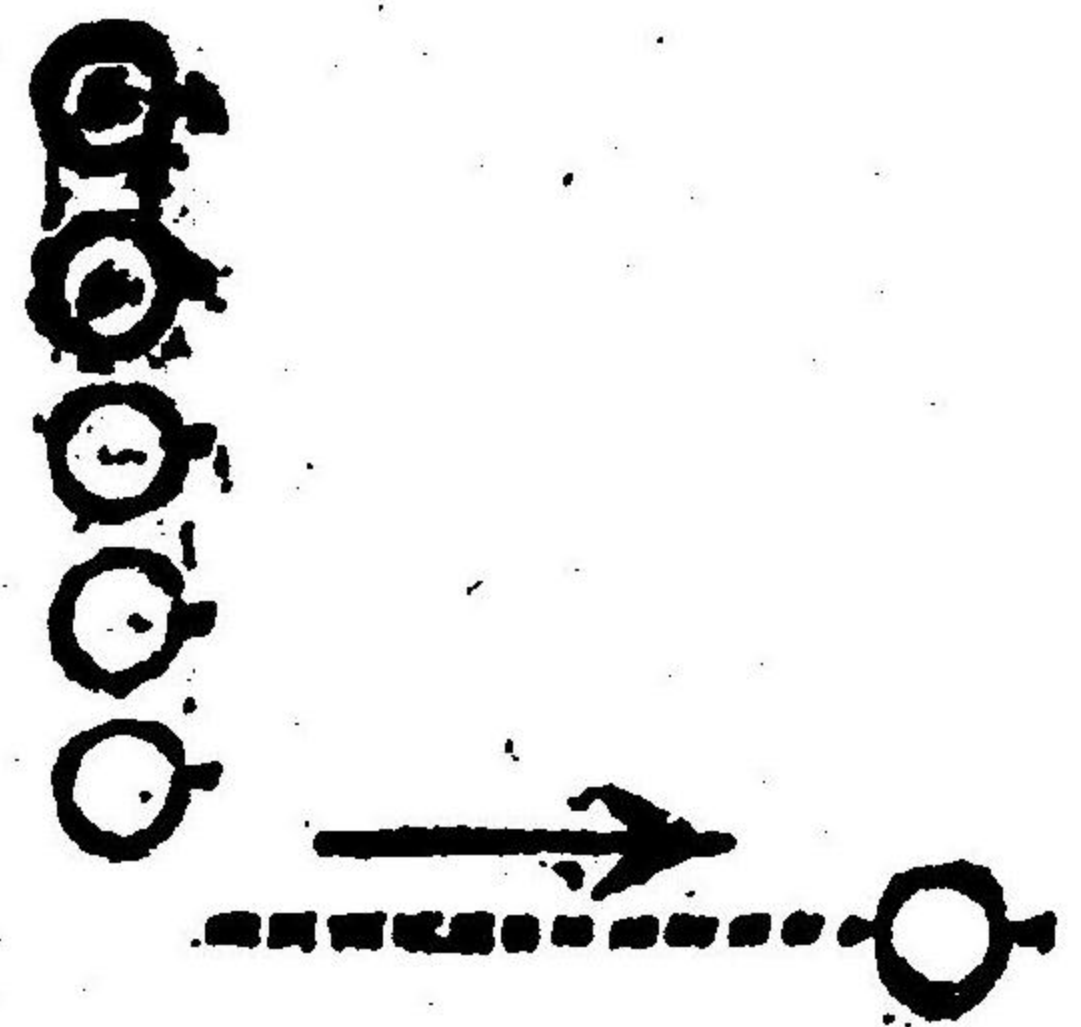
教官

頭右ヲ爲ス地點

ク自ラ頭右(左)ノ動  
作ヲ爲シ教官ハ之ヲ  
修正ス一番既ニ教官  
ヲ通過シ終レハ頭ヲ  
正面ニ復ス次ニ二番  
ノ兵ハ一番ノ者教官  
ノ前ヲ通過シ終レハ  
直ニ前進シテ一番ノ  
者ト同一ノ動作ヲナ  
ス教官ハ之ヲ修正ス

順次此ノ如クシテ之ヲ教練ス

新兵最初ノ位地



又行進間將校ニ對スル敬禮ヲ演習スルモ凡ソ右ノ要領ニ從ヒ  
テ實施スル者ニシテ之レカ爲メ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス  
汝等ハ余ヲ去ル三步前ニ來レハ正シク停止シ舉手注目ノ敬  
禮ヲ爲シ終レハ再タヒ行進スヘシ之レ將校ニ對スル時常ニ  
汝等ノ爲スヘキ敬禮ノ要領ナリ

第五 轉 回

教練ノ最初ニ在テ號令ヲ用ヒス動作セシムルノ理由ハ已ニ前  
ニ述ヘタルカ如ク教練ヲシテ勤務ト演習トノ區別ナカラシメ  
又易ヨリ難ニ入ルノ順序ニ從ハシメソカ爲ナリトス然レトモ  
尙ホ單ニ演習上ヨリ之ヲ論スルモ最初ニ於テハ左ノ如キ種々  
ノ利益アルモノトス

第一、新兵ヲシテ充分確實ナル要領ヲ了得セシムルヲ得ヘシ



何トナレハ新兵ハ號令ニ依ラス各自ニ動作スルヲ以テ之ヲ實施スルニ當リ心中其方法ヲ熟考シ之ヲ準備シ然ル後始メテ之ヲ實施スルヲ以テ多少速度ニ緩急アルモ其要領ハ確實ニ實施スルヲ得ヘシ

之ニ反シ若シ最初ヨリ號令ヲ用ヒ直ニ之レニ應ジテ動作セシムル時ハ新兵ハ唯其號令ニ遍レサランコトノミヲ懸念シ其方法ニ至リテハ十分熟考スルノ猶豫ナク急速ニ不確實ナル動作ヲ爲スニ至ルヘシ此ノ如キハ遂ニ其要領ヲ了解スルコト能ハサルノミナラス其進歩ハ遲緩シ時トシテハ之レカ爲メ惡僻ヲ生スルニ至ルコトアルモノトス故ニ最初ニ於テハ號令ヲ用ニルコトナク多少節度ノ緩急アルモ之レヲ替メス唯確實ニ實施セシムルヲ主トシ漸次熟練スルニ至リ始メテ號令ニ依リ確實

嚴正ニ實施セシムヘシ

第二、教官號令ヲ發唱スルノ時間ヲ以テ新兵演習ノ實施ニ利用シ得ヘシ此ノ如クスレハ教練ノ時間ハ自然ニ増加スル割合ニシテ從テ新兵ヲシテ多クノ動作ヲ爲サシムルヲ得ヘシ新兵ニシテ多ク動作ヲナシ得レハ教練ノ進歩スヘキハ又論ヲ俟タサルヘシ殊ニ一人ニシテ多數ノ新兵ヲ教育スルヲ要スル場合ニ於テハ此旨趣ニ從テ諸動作ヲ行ハシムルハ尤モ適切ナル方法ナリトス

第三、大ニ教官ノ勞力ヲ減スルヲ得ヘク從テ其力ヲ以テ兵卒ノ修正ニ轉用スルヲ得ヘシ例ヘハ十四名ノ教育班ヲ擔任スル教官ニシテ一動作ヲ四回復行スルモノトスレハ五十六回ノ號令ヲ下スヲ要ス如斯ハ獨リ時間ヲ徒費スルノミナラス教官ノ



努力ニ於テモ亦甚々大ナル者ニシテ寧ロ之ノ努力ヲ以テ他ニ  
利用スレハ其利益ノ許多ナルコト知ルヘキナリ此ノ如ク論ス  
ル時ハ各個教練ノ最初ニ於テ號令ヲ用ヒスシテ動作セシムル  
ハ眞ニ一舉兩得ノ良策ト云フヘキナリ  
右ノ旨趣ニ依リ此教練ハ左ノ方法ヲ採ルヲ以テ適當トス

隊形及説明

新兵ヲシテ一步間隔ニ於ケル一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ説明  
ヲ爲ス

各兵ハ余ノ前面ニ至ル時右足ヲ上ケ左踵ニテ如此(教官擴  
範ヲ示ス) 右向ヲ爲セ

實施

教官ハ右翼ヨリ順次ニ其前面ニ立ツ兵卒ハ直ニ示サレタル動

作ヲナス教官ハ之ヲ修正シ尙自習スヘキ點ヲ示シテ直ニ次ノ  
者ニ移リ順次此ノ如ク一順ヲ終レハ再三之ヲ復行ス

第六 柔軟體操 器械體操

本週始メテ教練スル諸運動ハ前週ニ述ヘタル要領ニ從ヒテ實  
施スヘシト雖トモ其已ニ要領ヲ理解セシ運動ニ在テハ全教育  
班ヲ合シ號令ニ依リテ同時ニ之ヲ演習スルヲ得ヘシ此時教官  
自ラ兵卒ノ修正ニ從事セント欲スレハ助手ヲシテ號令ヲ取ラ  
シムルモ可ナリ然レトモ全教育班某一舉動ノ修正ヲ終ランカ  
爲メ同一ノ姿勢ヲ保チテ永ク待タシムル如キコトヲ避クヘシ  
囁間斷ナク運動セシムルノ間ニ於テ教官ハ順次ニ巡回シテ之  
ヲ修正スルヲ要ス

器械體操モ亦前週ノ旨趣ニ依リ同一ノ方法ニ從フテ施行シ尙



號令ヲ以テ運動スルコトヲモ教ユルモノトス

五十

第三週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、姿勢 (立銃 擔銃)
- 二、速歩、駈歩 (自然ノ行進)
- 三、敬禮 (行進間下士ニ對スルモノ及行進シアル時將校ニ對スルモノ)
- 四、右轉回 (號令ナク)
- 五、着劍、脱劍、又銃
- 六、豫行演習 (架上照準 徒手ニテ立射ノ姿勢)
- 七、野外演習 (地形ノ識別及名稱)
- 八、柔軟體操 (執銃)

第一 姿勢

第三週

五十一



此ノ演習ノ目的ハ新兵始メテ銃ヲ携帶セシ時其保持ノ要領ヲ  
教練セント欲スルニアリ則チ銃ノ操法タル立銃ヨリ擔銃ヲ爲  
シ或ハ之レニ反スル動作ヲ教練スルノ趣旨ニ在ラスシテ唯銃  
ノ一定ノ位地、立銃或ハ擔銃ニアル姿勢ノ保持法ヲ確實ニ知  
得セシムルニアリ

故ニ號令ヲ用ヒス又列外ニ呼出スコトナク尤モ單純ナル停止  
間ノ動作ニ依リテ其姿勢ヲ修正スルモノトス此ノ如ク先ツ一  
ノ姿勢ニ於ケル保持法ヲ確實ニ教練シ稍之レニ熟スルノ後始  
メテ銃ノ操法ヲ教練スルハ適當ノ順序ナルヘシ此教練ノ方法  
左ノ如シ

隊形及説明

新兵ヲ一步間隔ノ一列横隊トナシ教官ハ左ノ如ク説明ス

余汝等ノ面前ニ至ル時如斯(教官立銃若クハ擔銃ノ模範ヲ  
示ス)姿勢ヲ取レ

實施

教官ハ一番ノ前ニ立ツ兵卒ハ直ニ其姿勢ヲ取ル教官之ヲ修正  
ス此時教官ハ新兵ヲシテ立銃ノ時ニ於ケル銃體ノ位地、銃ノ  
方向、右手ニテ銃ヲ保持スル要領、又擔銃ノ時ニ在テハ銃ノ  
肩ニ着スル位地、右臂ノ保持、等ノコトヲ十分確實ニ自得セ  
シムヘシ

助手ハ教官ノ命ニ從ヒ執銃ノ柔軟體操ヲ行ヒ或ハ新兵ノ各自  
ニ立銃擔銃ノ自習ヲ爲スヲ見テ之レヲ修正ス

此教練ハ最初ノ教練ニシテ新兵未タ銃ノ操法ヲ知ラサル時期  
ナルヲ以テ銃ヲ擔ヒ或ハ之レヲ立ツル等ノ動作ハ兵卒ノ自由



ニ任スルモノトス

第二 速歩駈歩

本週ニ於テモ速歩ノ教練ハ約テ前週ノ要領ニ從ヒテ之ヲ實施ス然レトモ唯其要求ノ度ヲ高ムルノミ殊ニ尤モ上體ノ保持ニ注意シ足ノ動作ハ成シ得ル丈ク正規ノ者ニ近ツク如ク修正スヘシ又未タ足ノ動作ヲ了解セサル新兵ニハ時トシテ歩法ノ正シキ故兵若クハ上等兵ヲ付シ新兵ヲシテ每歩其故兵若クハ上等兵ノ行進法ヲ觀セシメツ、併立シテ同時ニ行進セシメ以テ成ルヘク之レト同一ノ動作ヲ爲スヲ勉メシムルトキハ自然ニ歩法ヲ了解スルコトアルモノトス  
駈歩モ亦最初ニ於テハ大略ノ要領ヲ知ラシムルノミ而シテ其方法ハ大約速歩ヲ教練セシ要領ニ從ヘハ可ナリ

第三 敬禮

本週ニ於テハ行進間下士ニ對スル敬禮及行進シアル時將校ニ對スル敬禮ヲ演習ス  
下士ニ對スル敬禮ヲ演習スル方法ハ第二週ニ於テ實施セシ頭右ノ演習ニ準シテ行フモノトス  
將校ニ對スルモノニアリテハ概テ左ノ方ニ依レハ兵卒ハ間斷ナク動作シ得ヘク教官ハ容易ニ之ヲ修正シ得ルモノトス

隊形及説明

新兵ノ部隊ハ半數ニ分レ約十五歩ヲ間シテ互ニ對向セシメ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス

各兵ハ今示ス如キ動作ヲ爲セ此レ行進シアル時將校ニ對スル敬禮法ナリ（此ノ時教官ハ其模範ヲ示ス則チ教官ト上等

第三週

五十五



甲部隊

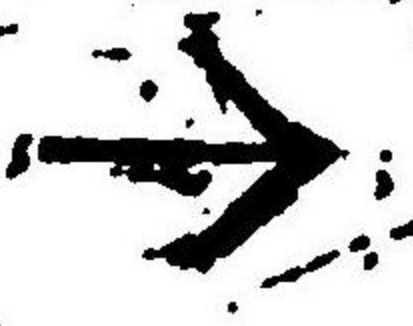
● 第二回新兵

● 第二回教官



● 第二回教官

● 第二回新兵



乙部隊

五十六

兵ハ互ニ對向シテ行進  
シ上等兵適宜ノ所ニテ  
停止シ舉手注目ノ敬禮  
ヲ爲シ終リテ又行進ヲ  
始ム

實施

教官ハ始メ甲部隊ノ方ニ  
アリ乙部隊ノ右翼兵ニ前  
進ヲ命ジ教官モ亦前進シ  
テ  
乙部隊ノ方ニ來リ互ニ行  
キ遇フトキ新兵ハ停止シ

テ敬禮ヲ爲シ教官ハ之ヲ修正ス次ニ教官ハ乙部隊ノ方ヨリ前  
進シ甲部隊ノ左翼兵ニ前進ヲ命ジ前ト同シ動作ヲナサシム此  
ノ如ク交互ニ兩部隊ノ兵卒ヲ教練ス  
若シ要スレハ上等兵ヲ以テ右ニ示ス教官ノ動作ヲ爲サシメ教  
官ハ一地ニ在テ專ヲ兵卒ノ修正ヲ爲スモ可ナリ

第四ノ右轉回

本週ニ於テハ二分一ノ轉回則チ廻レ右ヲ教練ス  
其要領ハ第二週轉回ノ時ニ於テ示セル旨趣ニ從ヒ實施スルモ  
ノニシテ最初ハ號令ヲ用ヒス各自ニ之ヲ實施セシム  
此レテ教練スルニ當リ其動作ヲ區分シテ實施ノ順序ヲ理解シ  
易カラシムルハ必要ノコトナリト雖トモ之レカ爲メ號令ノ如  
キ舉動ヲ付シ其舉動ニ應ジ嚴確且迅速ニ實施セシメントスル

第三週

五十七



ハ新兵ノ爲メニハ稍困難ナルコトナルヲ以テ最初ニ於テハ號令ヲ用ユルコトナク又舉動ヲ下スコトナク唯新兵各自ニ其理解力ノ程度ニ應シ隨意ノ速度ニ據リテ實施セシメ漸次熟練スルニ應シ正規ノ如ク爲ヌヲ期スヘシ然レトモ本週ニ於テハ未タ此ノ如キ程度ニハ進歩セサル者ナリトス

### 第五 着劍、脱劍、及銃、

本週ニ於テ新兵ハ始メテ執銃ヲ爲スニ至レリ故ニ休憩ノ時及ヒ日課變換ノ時等屢々又銃ヲ爲ヌ要スヘシ之レカ爲メ着劍、脱劍及又銃ノ方法ヲ教ユルハ必要ナリトス  
着劍、脱劍ノ動作ハ其結果操典ニ示セル如ク每兵成ルヘク迅速ニ實施スルヲ要シ決シテ一部隊齊一ニ爲ヌヲ望ム者ニアラス故ニ其操作ハ銃ノ操法ト全ク主旨ヲ異ニスル者ニシテ從テ

其教練ノ方法ニ於テモ亦是レヲ異ニセサルヘカラス  
此動作ヲ新兵ニ教ユルニ當リ其手順ヲ了解シ易カラシムルノ目的ヲ以テ其動作ヲ區分シ綿密ニ教練スルハ必要ノコトナリ然レトモ若シ之レニ反シテ全隊ノ齊一ヲ期スルノ目的ヲ以テ銃ノ操法ニ於ケルカ如ク舉動ヲ附シテ教練スルハ全ク其ノ方法ヲ誤マル者ト云フヘキナリ

要スルニ教官ノ新兵ニ教ユヘキコトハ着劍脱劍ハ此ノ如キ方法即チ手順ニ依リテ爲ヌ者タルコトヲ了解セシムルヲ以テ足レリトス又其速度ニ至リテハ熟練スルニ從ヒ成ルヘク速力ニ動作セシムルヲ勉ムルニ過キサル者トス教練ノ目的前述ノ如ク即チ全部隊齊一タルヲ期セスシテ唯新兵ニ其手順ノミヲ教ユル者ナルハ敢テ殊更ニ舉動ヲ下シテ教練スル等ノ繁雜ナル



トテ爲スコトナク簡易ニ其要領ヲ理解シ得セシムヘキナ  
 即チ教官ハ新兵ニ對シ着剣(脱剣)ハ此ノ如キ順序ニ據リテ爲  
 スモノニシテ其速度ハ成ルヘク迅速ニ爲スヘシト説明シツ、  
 其模範ヲ示シ新兵ヲシテ之レヲ實施セシムレハ足レリトス  
 其銃ノ如キモ一回其方法ヲ教育スルノ後ハ之カ爲メ敢テ特別  
 ノ時間ヲ設クテ教練スルヲ要セサルヘシ然レトモ演習間又銃  
 ヲ爲スノ時機ニ於テ綿密ニ之レヲ修正教示セハ漸次ニ其要領  
 ヲ了解シ又能ク之ニ熟練スルニ至ルヘキナリ

第六 豫行演習

銃ノ効用ヲ教ユルハ銃ノ操法ヲ始ムルト同時ニ於テスルヲ可  
 トス之レカ爲メ本週ニ於テ豫行演習ヲ始ムルヲ可トス此時教

官ハ射擊學理ノ初歩ヲ説明スヘシ然リト雖トモ成ルヘク平易  
 ニシテ直接必要ノ者ニ限ルヲ要ス本週ニ於テハ左ノ如キ程度  
 ヲ以テ實施スルヲ適宜トス  
 兵卒ヲ三脚架ノ周圍ニ半圓形トナシ教官ハ左ノ説明及ヒ教練  
 ヲ爲ス

照準ノ爲メ照星ノ見方

照尺ノ讀法並ニ掛ケ方

架上ノ照準

教官ハ新兵各個ニ付テ修正ヲ爲シ及ヒ點檢ヲ爲ス此間助手ハ  
 立射ニ於ケル身體ノ姿勢ヲ教練ス其要領ハ射擊教範ニ依ルモ  
 ノトス

第七 地形ノ識別地物ノ名稱

第三週



本週ニ至レハ野外ノ演習ヲ始ムルヲ可トス然レトモ此時期ニ於テ新兵ハ唯銃ヲ携フルコトヲ能クスルノミニシテ未タ射撃動作ヲ爲ス能ハス故ニ正規ナル散兵教練ハ固ヨリ之ヲ行フコト能ハス又未タ之ヲ教練スルノ順序ニアラス唯左ノ二目的ノ爲メ演習スルニ過キサレヘシ

### 第一ハ往復ノ途中地物ノ名稱地形ノ識別

### 第二ハ演習地ニ至リテ散開集合ノ運動及古兵ノ演習見學

此ノ如キハ現時新兵ノ程度ニ於テ適當ナル課目タルヘシ然ルニ皮想的觀察ヲ以テ云フトキハ野外教練トシテ一日ノ時間ヲ費ス如キ價值ナキ演習タルノ感覺ヲ起スコトナキニアラス然レトモ他方ヨリ之ヲ觀察スレハ此演習ハ尤モ必要ナル者タルヲ知ルヲ得ヘシ

則チ新兵入營前ニ於テハ概テ不規則ニシテ且自由ナル起居運動ヲ爲スノ習慣ヲ有スル者ナリ然ルニ一タヒ兵營ニ入ルノ後ハ規律整正ナルノミナラス一舉一動皆規矩準繩ノ間ニ於テ起臥セサルヘカラス此ノ如ク其境遇ノ劇變スルヤ未タ軍隊ノ習慣ヲ得サル新兵ハ心中非常ナル勞苦ヲ感シ爲メニ壯快ナル精神ヲ失ヒ活潑ノ動作ヲ爲シ得サルニ至ルヘシ此時ニ當リ若シ之ヲ野外ニ導キ開豁ナル野原ヲ馳驅セシメ勇壯ナル運動ヲ爲サシムル時ハ狹隘ナル練兵場ノ運動ニ比スレハ新兵ヲシテ精神ノ壯快ヲ感セシメ大ニ志氣ヲ振起スルモノトス然ル時ハ此教練ハ獨リ演習上ノ利益及ヒ體育上ノ補助ヲ爲スノミナラス精神上ニ於テ甚々大ナル利益アルモノトス

### 實施



新兵ヲシテ銃劍ノミヲ帶シ未タ銃ヲ携ユシマス又各教育班ニ  
區分シ班長ヲシテ之ヲ指揮セシメ同一ノ道路上適宜ノ距離ヲ  
存シテ行進セシム而シテ班長ハ行進中ニ於テ新兵ノ爲メ現在  
セル者ニ就キテ地物ノ名稱地形ノ識別其他諸般ノコトヲ教示  
スルモノトス此時殊ニ注意スヘキハ決シテ高尙ノコトヲ教示  
サルニアリ之レ新兵ノ腦裏ニ繁雜ヲ起シ爲メニ一ノ記憶スル  
所ナキニ終ルヘケレハナリ

已ニシテ目的ノ地點ニ達スレハ休憩ヲ與ヘ新兵ヲシテ自由ニ  
運動セシメ時トシテハ教官ハ勇壯快活ナル談話ヲ以テ新兵ヲ  
慰籍獎勵シテ其志氣ヲ振起セシムヘシ然ル後之ヲ集合シテ教  
育班毎ニ一ノ分隊ヲ編成シ散開停止集合等ノ要領ヲ單簡ニ教  
示シテ之ヲ演習ス此時ニ於テハ地形ヲ利用スルニ及ハス又散

開ノ時モ唯後列兵ハ前列兵ノ左ニ出テ一步或ハ二步ノ間隔ヲ  
取り得レハ足レリトス要スルニ此演習ノ主旨ハ前週集合解散  
ノ時ニ述ヘタル趣旨ニ依ルモノトス其後古兵ノ演習アレハ之  
ヲ見學セシメ所要ノ説明ヲ與フヘキナリ

此演習ハ新兵始メテ野外ニ行軍スルモノナルヲ以テ其服裝ハ  
成ルヘク輕裝トナシ其行程モ亦近距離ノ地ヲ求ムルヲ可トス  
何トナレハ此演習ノ爲メ靴傷患者ヲ生スルカ如キハ後來ノ教  
育上大ナル妨害ヲ及スヘケレハナリ

第八 柔軟體操

本週ニ於テハ已ニ新兵ヲシテ銃ヲ携ヘシメタルヲ以テ執銃柔  
軟體操ヲ爲サシムルヲ順序トス此ノ如クスレハ大ニ執銃教練  
ノ補助ヲ爲スモノニシテ之レカ爲メニハ前週ニ示セル如ク銃



令ヲ以テ動作シ教官ハ之レヲ修正ス

### 第四週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、姿勢 (捧銃)
  - 二、速歩、駈歩 (速歩ハ六歩乃至八歩ノ距離ニテ正シク施行セシム)
  - 三、銃ノ操法 (擔銃 立銃 捧銃 號令ナク列内ニ於テス)
  - 四、足踏、蹈替
  - 五、豫行演習 (架上照準 徒手ニテ膝射ノ姿勢)
  - 六、野外演習 (地形ノ識別及名稱、距離測量)
  - 七、柔軟體操 (据銃演習)
- 第一 姿勢



第三連立銃據銃ノ姿勢ヲ教練スルト同一ノ目的同一ノ方法ニ依リ據銃ノ姿勢ヲ教練ス  
故ニ號令ヲ用ユルコトナク新兵ヲシテ據銃ニ於ケル銃ノ保持左手ノ位置、右手ノ要領ヲ確實ニ自得セシムルヲ要ス  
最初修正ヲ受ケタル點ハ新兵ヲシテ自習ノ時ニ於テ屢々之ヲ目視シテ自ラ研究セシムルヲ可トス

第二 連歩及駢歩

本週ニ至レハ新兵ハ已ニ活潑ニ行進スルコト及ヒ他ノ兵ト同一ノ歩調ヲ取ルコトハ正シク爲シ得ルニ至ルヘシ故ニ互ニ六歩乃至八歩ノ距離ヲ取り且ツ正シク行進スルコトヲ演習ス此ノ時ニ於テモ號令ヲ用ユルコトナク各自ニ發進シ各自ニ停止セシメ教官ハ其ノ動作ニ依リテ漸次ニ修正ス是レ尤モ確實ナル要領ヲ自得セシムルノ要旨タルナリ

隊形及説明

新兵ヲ一列側面ト爲シ教官ハ左ノ如ク説明ス  
各兵ハ先頭ヨリ六歩(八歩)ノ距離ヲ取リテ前進セヨ

實施

教官ハ先頭ヲ去ル約十五六歩ノ地ニ立テ順次到着スル新兵ニ對シテ適切ノ修正ヲ爲シ約十四五歩ノ地ニ至レハ助手ヲシテ之ヲ停止轉回セシメ再タハ發進シ得ルノ準備ヲ爲サシム  
此演習ニ於テ新兵ヲシテ屢々教官ノ修正ヲ受ケシメンニハ其ノ前ヲ通過スル回数ヲ多クスルヲ可トス之レカ爲メ一時ニ長キ距離ヲ行進セシム可カラズ又教官ノ修正ヲ爲スニハ毎回一ノ目的ヲ定メ專ラ此點ニ注目シアルヲ可トス假令ハ第一回ハ



頭ノ位置、次ハ上體ノ姿勢、次ハ手ノ振動、次ハ足ノ動作、次ハ足尖ノ方向、次ハ足ノ水平、等ノ如シ然ル時ハ教官ハ其位置ニ在リテ新兵ノ前面ニ來ル者ニ應シ容易ニ其一部ノ修正ヲ爲スヲ得ヘシ此ノ如ク毎回一點ツ、ノ修正ヲ爲ストスルモ六回復行スル時ハ右ニ示セル各部ノ修正ハ之ヲ爲シ終ルヲ得ル者ニシテ則チ各兵ニ付キ身體ノ全部ヲ修正シ終リタルナリ此要領ハ同時ニ全部ノ修正ヲ爲サント欲スル者ニ比スレハ最モ容易ニシテ且利益アル手段トス又此要領ニ從エハ身軀ノ各部ニ付キ常ニ新兵ノ注意ヲ喚起シ得ルヲ以テ教練ノ進歩上ニ於テモ亦有利ナルモノトス

第三 銃ノ操法

此ノ演習ノ目的ハ兵卒孰レノ場合即チ勤務ト演習トヲ問ハス

銃ヲ取扱フ爲メニ取ルヘキ動作ヲ教練スルニアリ之レカ爲メ先ツ最初ニ於テハ號令ヲ用ヒス確實ニ各舉動ノ要領ヲ自得セシムルヲ勉ムヘシ

立銃、擔銃及捧銃ニ於テ靜止間銃ヲ保持スル要領ハ姿勢ノ演習ニ當リ略ホ了解シタルヲ以テ此ノ演習ニ於テハ主トシテ其ノ經過ノ途中則チ立銃ヨリ擔銃ニ至リ或ハ擔銃ヨリ立銃ニ至ル間ニ於ケル銃ノ位置方向等ノ正確ナル如ク演習セサルヘカラス是レ教練上銃ノ操法ト擔銃立銃等ノ姿勢トノ趣旨ヲ異ニスル所以ナリ

最初ニ在テハ各舉動ノ速度ハ一ニ兵卒ノ隨意ニ任シ唯確實ニ實施セシムルヲ勉メ漸次要領ヲ解スルニ從ヒ其速度モ亦適當ナルニ至ラシムヘシ



銃ノ操法ニ於テモ前屢ニ述ヘシ理由ニ據リ未熟ノ時ヨリ號令ヲ以テ教練ヲ爲ストキハ新兵ハ急遽ニ不確實ノ動作ヲナシ爲メニ大ニ教練ノ進歩ヲ害スルニ至ル加之此ノ如ク初メヨリ單ニ號令ノミヲ以テ養成セシ兵卒ハ其習慣上、確實ナル動作ハ唯指揮官ノ號令アル時ノミニ限り勤務ノ時則チ指揮官ノ號令ナキ場合ニ於テハ甚タ不確實ナル動作ヲ爲スノ感アルカ如シ之レ所謂勤務ト演習トノ合一セサル者ニシテ教練ノ主旨ニ反スルモノトス依テ最初ヨリ新兵ヲシテ如何ナル場合ト雖トモ銃ヲ取扱ニハ常ニ確實ニ操作スヘキモノタルノ感念ヲ有セシムル如ク養成スルハ必要ニシテ最初號令ナク動作セシムルトキハ此ノ習慣ヲ養成シ常ニ確實ノ動作ヲ爲サシムルニ於テ大ニ補益アルヘキヲ信スルナリ依テ左ノ方法ヲ採用セリ

隊形及説明

新兵ヲシテ一步間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ例ヘハ左ノ説明ヲ爲ス

兵卒ノ銃ヲ擔フニハ孰レノ場合ヲ問ハス此ノ如ク(教官模範ヲ示ス)行フモノナリ各自ニ研究シテ確實ニ實施シ得ル如ク研究スヘシ

實施

右ノ指示ニ依リ列中ノ新兵ハ各自ニ種々研究シテ其要領ヲ求ムヘシ此時教官ハ一番ヲ列外ニ呼出ス(此ノ要領ハ最初姿勢ヲ教練セシ時ニ同シ)先ツ其立銃ノ姿勢ヲ修正シテ後擔銃ヲ命シ其各舉動ニ付修正ヲ與フ然レトモ決シテ一時ニ萬全ヲ望メテ一人ノ爲メ長時間ヲ費スヘカラス宜シク尤モ重要トスル



一二點ノ修正ヲ爲シテ直ニ次ノ新兵ト代ラシムヘシ教練ノ回數増加スルニ從ヒ漸次完全ニ至ルヘキナリ  
 列外ニ呼出スノ趣旨ハ此機ヲ利用シテ停止ノ姿勢ヲ修正セシト欲スルニ外ナラス然ルニ此時ニ於テ姿勢ノ修正ヲ爲サス唯形式的之ヲ列外ニ呼出ス者ト爲ス如キハ全ク徒ラニ時間ヲ費スニ過キサルヘシ若シ教練上此レカ修正ヲ要セサレハ敢テ列外ニ呼出スコトナク列外ニ於テ右翼ヨリ順次上ノ要領ニ從ヒ教練スヘキナリ然ルトキハ新兵往復ノ時間ヲ省クコトヲ得ルヲ以テ多ク操法ニ關スル演習ヲ爲スヲ得ヘシ  
 其他上ノ要領ニ依リテ此教練ヲ實施セハ號令ノ爲メニ費ス所ノ時間ヲ省クヲ得ヘク又其修正モ上ノ要領ニ從フトキハ一人ノ新兵ニ要スル時間僅少ナル爲メ一順ノ教練ヲ終ル從テ迅速

ニシテ爲メニ一ノ新兵ハ教官ノ前ニ立テ演習スルノ回數ヲ増加ス此回數増加スルニ從ヒ教官ノ修正モ綿密ナルヘク又列兵ハ長時間順番ノ來ルヲ待ツコトナキヲ以テ倦怠スルノ患ナシ

#### 第四 足蹈及蹈替

此ノ演習ハ敢テ緊要ノモノニアラス新兵一タヒ其ノ方法ヲ知得スレハ屢々演習スルノ要ナキモノトス殊ニ蹈替ノ如キハ一部隊同時ニ施行スヘキ動作ニアラサルヲ以テ其節度ノ如何ハ敢テ同一ナルヲ要セス唯新兵ヲシテ確實ニ其方法ヲ自得セシムレハ足レリトス  
 左ノ方法ニ依ルトキハ新兵ヲシテ間斷ナク動作セシメ教官ノ修正モ容易ニシテ其要領ヲ確實ニ了解セシムルヲ得ヘシ



隊形及説明

新兵ヲシテ一步間隔ノ一列横隊トナシ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス  
各兵ハ余カ前ニ來レハ如斯足蹈(蹈替)ヲ爲セ此時教官ハ摸  
範ヲ示ス

實施

教官ハ列ノ一翼前七八歩ノ所ニ立チ新兵ハ順次前進シテ教官  
ノ前ニ至ル時各自ニ其動作ヲ爲シ教官之ヲ修正ス  
此時號令ヲ用ヒス又最初ハ其速度ヲ問ハス姿勢ノ如キモ敢テ  
之ヲ咎ムルコトナク其動作ハ新兵ノ爲シ得ル度ニ應シ大躰ニ  
付之ヲ實施シ得レハ可ナリトス數回復行スレハ遂ニハ適當ニ  
施行シ得ルニ至ルヘキナリ  
之レカ爲メ號令ヲ下シ舉動ヲ設ク或ハ遲舉動ヲ以テ施行スル

如キハ全ク不用ノコトタルノミナラス反テ新兵ノ意中ニ混雜  
ヲ起シ遂ニハ其要領ヲ了解スルヲ得サルニ至ル故ニ教官ハ唯  
其摸範ヲ示シ兎ニ角實際ニ付キ二三回實行セシメテ大躰ノ要  
領ヲ知得セシメ漸次其細部ノ修正ヲ爲ス時ハ之ノ要領ヲ理解  
セシムルコト敢テ困難ノコトニアラサルナリ

第五 豫行演習

第三週ニ於ケル要領ニ從ヒ左ノ教練ヲ爲ス

各種ノ場合ニ於テ彈着ニ偏避ヲ生スル理由

各自ノ銃ニ付偏避ヲ知得スルノ必要ナルコト

中間距離ニ於ケル照準法

此ノ如キ諸種ノ偏避ニ依リ照準ノ修正法

此ノ間助手ハ徒手ニテ膝射ノ姿勢ヲ教ユ



## 第六 距離測量

本週ニ於ケル野外演習ハ前週ニ於ケル者ト略々同様ノコトヲ  
 教練スヘシ但銃ヲ携エテ之ヲ行フヲ得ヘシ然レトモ射撃ノ姿  
 勢ハ未タ之ヲ取ル能ハス而シテ本週ニ於テハ距離測量ノ教練  
 ヲ實施セントス

新兵豫行演習ニ依リ射撃規則ヲ知悉スルニ至レハ敵ニ對シテ  
 有効ノ射撃ヲ爲サン爲メ豫メ距離目測ノ梯尺トナルヘキ基準  
 距離ヲ教練スルコト必要ナリ

此レカ爲メ百、二百、三百米突ノ各距離ニ二三名ノ兵卒ヲシ  
 テ標旗ヲ携ヘ差遣スヘシ若シ爲シ得レハ側方ニモ出スモノト  
 ス此各標兵ハ伏姿、膝姿、或ハ立姿ヲ取ル教官ハ列兵ヲシテ  
 其大小及ヒ視像ノ景況ヲ記憶セシメ且太陽ニ面スルト否トモ

ヨリ其現像ニ異ナルモノアルヲ了解セシムヘシ（此標兵ハ故  
 參兵ヲ用ユルカ或ハ助手ノ上等兵ヲ用ユルモ可ナリ）

次ニ各標兵ハ之ヲ潜伏セシメ、豫メ潜伏ノ記號起立ノ記號ヲ  
 約シ置クヲ要ス）某地點ニ一ノ目標ヲ現出セシメ新兵ヲシテ  
 之ヲ目測セシム然ル後該未知距離目標ニ近通スル處ノ基準距  
 離ノ標兵ヲ起立セシメ新兵ヲシテ彼是比較シテ其誤リヲ自得  
 セシム其他射撃教範ニ示セルコトヲ實際ニ付キ説明スヘシ

距離測量ノ爲メニハ目標ト自己トノ中央ニ中間點ヲ求メ先ツ  
 此ノ中間點マテノ距離ヲ目測シ次ニ其距離ヲ二倍シテ眞距離  
 ヲ求ムルハ大ニ測量ヲ容易ナラシムル者トス故ニ新兵ヲシテ  
 此中間點ヲ取ルニ慣レシムルヲ必要ナリトス之レカ爲メニハ  
 新兵ヲシテ某目標ニ對スル中間點ヲ云ハシメ次ニ其地點ノ果



シテ中間ニ適當セシヤ否ヤヲ步測セシムルハ又尤モ有利ナル方法ナリトス

基準距離ヲ示スト同時ニ横幅ノ廣サヲ記憶セシメシ爲メ更ニ標兵ヲ設置スルコトアリ假ヘハ五十米突ノ距離ニ於テ五十米突ノ横幅ヲ百米突ノ距離ニ於テ百米突ノ横幅ヲ取ラシメ以テ距離及横幅ノ彼是ヲ比較シテ其廣狹ノ景狀ヲ知得セシムルニアリ然レトモ此演習ハ新兵進歩ノ程度ニ應シテ其課目ヲ斟酌スヘキ者トス又爾後野外演習ノ時ヲ利用シ時機ヲ得ル毎ニ此距離測量ノ演習ヲ爲スコト必要ナリ

第七 柔軟體操

Eニ銃ヲ携エ亦豫行演習ヲ始メ射擊姿勢ヲ教育スルニ至リシヲ以テ射擊動作ノ補助タラシムル爲メ据銃演習ヲ始ムルヲ可

トス

此時ニ至レハ新兵ハ十分柔軟體操ノ要領ヲ了解シアルヲ以テ號令ヲ以テ之ヲ施行スルヲ得ヘシ此後ノ教練ニ於テ柔軟體操ハ特ニ時間ヲ設ケテ之ヲ復習セシムルコトアルヘシト雖トモ專ラ某教練ノ時間新兵ノ自習ヲ爲スヘキ時ニ於テ其教練ノ補助トナルヘキ動作ヲ撰ミ助手ヲシテ之レヲ施行セシムヘシ然ル時ハ大ニ各個教練ノ補助トシテ適切ニ體操ノ効力ヲ利用シ得ヘキ者ナリトス殊ニ新兵ニシテ某一點ノ筋肉凝固ニシテ之ヲ矯正スルヲ要スル時ノ如キハ絶エス此矯正ニ適切ナル運動ヲ撰メテ實施セシムルハ尤モ効力アルモノニシテ所謂各個教練ハ柔軟體操ヲ補助トシテ教育スルノ要領ニ合スルモノトス



其他器械體操ニ於テモ亦右ノ旨趣ニ從ヒテ之レヲ實施スルモ  
ノトク

第五週ニ於ケル演習ノ課目

- 一、行進間ノ右(左)向、斜行進 (號令ナク)
- 二、銃ノ操法 (一人ヲ、列外ニ呼出スカ或ハ列内ニテ  
二三人同時ニ施行ス)
- 三、裝填及彈藥ノ抽出 (號令ナク)
- 四、敬禮 (執銃)
- 五、野外演習 (地物ノ利用)
- 六、豫行演習 (引金ニ於ケル指ノ作用、托架ノ照準)  
第一 行進間右(左)向、斜行進

本週ニ至レハ新兵ハ稍速歩ノ要領ヲ了解スルニ至ルヘキヲ以  
テ此ニ行進間ノ運動ヲ教練スルヲ得ヘシ之カ爲メ先ツ右(左)



向前へノ演習ヲ教ユ此ノ演習ニ於テモ最初號令ニ依ラスシテ  
兵卒各自ニ確實ニ動作スルコトヲ自得セシメ次ニ號令ヲ以テ  
番一二動作セシムヘシ

往時此運動ヲ教練スルニ當リ最初ニ於ケル手段トシテ遲舉動  
ヲ用ヒテ教練ヲ爲セシコトアリ然レトモ此ノ如キ方法ハ尤モ  
痴鈍ナル新兵ニシテ止ムヲ得サル二三ノ者ニ對シテハ或ハ必  
要アルヘシト雖トモ普通ノ理解力ヲ有スル者ニ對シテハ決シ  
テ必要ナキコトトス加之ナラス此ノ如ク初メ遲舉動ヲ以テ教  
練スル時ハ再ヒ之ヲ正規ノ如ク動作セシムル爲メニハ更ニ幾  
多ノ教練ヲ要シ從テ無用ノ勞ト無用ノ時トヲ費スノ不利アリ  
然ルニ左ノ方法ニ依ル時ハ此ノ如キ繁雜ヲ省キ得ルノミナラ  
ス尤モ正確ナル動作ヲ爲サシムルニ至ルヘキ適切ナル要領ヲ

ヲトス

又此ノ方法ハ獨リ最初教育スル時ノミナラス爾來復習ノ時ニ  
於テモ屢々之ニ依リテ演習スレハ常ニ正確ノ動作ヲ保タシム  
ルヲ得ヘキ者トス

隊形及説明

新兵ヲ一列側面トナシ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス

各兵ハ六歩ノ距離ヲ取リテ前進シ標兵ヨリ二三歩ノ處ニ於  
テ各自ニ右向前ヘテ爲セ(此時教官ハ要領ヲ説明シツ、其  
模範ヲ示ス)

此時助手ノ上等兵ハ標兵トナリ先頭ヨリ七八歩ノ地ニ立ツ

實施

各兵ハ逐次ニ前進シ標兵ノ附近ニ至レハ號令ナク各自ニ右向



前へテ爲シ教官之ヲ修正ス

此運動ノ實施タルヤ前ニ述ヘタル如ク決シテ舉動ヲ設ケテ動作セシムルモノニアラス故ニ最初ニ於テハ其速度遅緩ナルモ之ヲ急ムルコトナク又上體ノ姿勢ハ強テ之ヲ保ツテ要セス唯其兩足ノ動作稍ニ定規ノ要領ニ適スレハ可ナリトス期スル所ハ屢々之ヲ復行シ其回数増加スルニ從ヒテ漸次正シク動作ヲ得ルニ至ラシム可キナリ然レトモ遂ニ要領ヲ了解シ能ハサルモノアレハ別ニ之レカ教練ヲ爲スヘシ又要スレハ一地ニ於テ足尖ノ動作ノミヲ柔軟體操ニ於ケルカ如ク實施セシムヘシ之レ容易ニ此要領ヲ理解セシメ得ルニ利益アル手段ナリトス

第二 銃ノ操法

本連ニ於テハ銃ノ操法ハ復習ナリトス故ニ號令ニ依リ正シク

動作スルコトヲ教練スヘシ又此復習ノ時ヲ利用シテ停止ノ時直ニ取ルヘキ銃銃ノ姿勢ヲ修正セント欲スレハ一人ツ、列外ニ呼出スヘシ然レトモ此ノ如キ目的ヲ有セザレハ之ヲ列外ニ呼出スコトナク列内ニ於テ一名ツ、號令ヲ下シテ之ヲ行ハシムルヲ便ナリトス又此ノ如ク一人ツ、復習スルノ後新兵稍々操法ノ要領ヲ自得シ得ルニ至レハ時トシテ二三名同時ニ施行セシムルモ可ナルヘシ何トナレハ稍々習熟スルニ至レハ同時ニ之ヲ修正スルハ敢テ難キニアラサルヲ以テナリ又此ノ如ク號令ヲ以テ動作セシムルノ間ト雖トモ猶屢々號令ナク各自ニ動作セシムルノ演習ヲ施行スルハ緊要ナリ之レ尤モ確實ニ動作セシメンカ爲メナリ

第三 裝填及彈藥ノ抽出

第五連



裝填ヲ教ユルニモ前屢々述ヘタル如ク最初ハ號令ナク其要領及順序ヲ確實ニ自得セシメ次ニ號令ニ從テ迅速ニ裝填スル如ク教練ス

往時裝填ヲ教ユル最初ノ手段トシテ其動作ヲ多クノ舉動ニ區分シテ教練シタリ然ルニ元來裝填ノ動作タルヤ其結果銃ノ操法ノ如ク各舉動ニ於テ一定ノ速度ヲ要スルニアラス又全部隊ノ齊一ヲ求ムルニアラス反テ兵卒熟練ノ度ニ應シ成ルヘク迅速ニ裝填シ終ルヲ以テ目的トス

裝填ノ目的タル已ニ斯ノ如キ者ナルヲ知ラハ其教練ノ方法モ亦之ニ適スル者ニ據ラサルヘカラス銃ノ操法ニ於ケルカ如ク一定ノ舉動ヲ付シ一定ノ速度ヲ用ヒ以テ之ヲ教練スルハ決シテ適當ノモノニアラス宜シク舉動ヲ用ヒス速度ヲ同ハス唯其

手順ヲ了解セシムルニ尤モ適當ナル他ノ方法ヲ求ムヘキナリ若シ此ノ如キ方法ニ據レハ新兵ハ多クノ舉動ヲ記憶スルノ煩勞ナクシテ其手順ヲ理解スルノ益ヲ得ヘシ

次ニ示ス所ノ要領ハ尤モ右ノ旨趣ニ適スル者タルヲ借スルナリ則チ教官ハ自ラ裝填ノ動作ヲ爲シツ、新兵ニ尤モ單簡ニ次ノ三件ヲ示スヘシ曰ク裝填スルニハ第一ニ遊底ヲ開キ、次ニ彈丸ヲ込メ、終リニ遊底ヲ閉ツルナリト最初ニ於ケル説明ハ此ノ如キヲ以テ足レリトス甚シキ愚鈍ナル新兵ヲ除クノ外ハ此ノ説明ニ據リテ明瞭ニ裝填ノ順序ヲ知り得ヘキハ又疑ナキ所ナリ

此ノ如クシテ新兵其大略ノ順序ヲ了解シ漸ク遊底ヲ開キ彈藥ヲ込メ遊底ヲ閉ツルノ動作ヲ爲シ得ルニ至ルヤ始メテ其細部



分ノ要領ヲ教ユヘシ此ノ方法ニ據ル時ハ最初ニ於テハ其速度ノ遅緩ニシテ其動作ノ正整ナラサルハ固ヨリ免ルヘカラスト雖トモ屢々之ヲ復行スレハ漸次正確且迅速ニ至ラシムルヲ得ヘキナリ之ニ反シ若シ舉動ヲ区分シテ教練スルノ手段ニ依ル時ハ獨リ新兵ヲシテ繁雜ノ感念ヲ有セシムルノミナラス此手段ノ習慣ハ已ニ其方法ニ熟練スルノ後ニ至ルモ猶ホ之ヲ脱スルコト能ハス各舉動ノ間稍猶豫ヲ置クノ弊ヲ生シ大ニ裝填ノ迅速ヲ害スルノ恐アルモノトス右ノ理由ニ依リ左ノ方法ハ尤モ適切有利ナル者ト信スルナリ

### 隊形及説明

新兵ヲシテ一步間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ説明ヲナス  
裝填ノ如キ(教官模範ヲ示ス)順序ニ依テ爲スモノナリ各

兵ハ確實ニ之ヲ爲シ得ル如ク研究ス可シ

### 實施

教官ハ右翼ヨリ順次ニ其動作ヲ教練スルコト前諸教練ニ於ケルカ如シ

此時號令ヲ用ユルコトナク又最初ニ於テハ多少姿勢ノ不正アルモノ之間ハス鬼ニ角漸ク順序ヲ違ヘス遊底ヲ開キ、彈丸ヲ填メ、遊底ヲ閉ツレハ足レリトス此ノ三ツノ動作ヲ了解スルニ至レハ姿勢ヲ修正シ次ニ杆桿ノ持方、銃口ノ位置、銃把ノ位置、等凡テノ動作ヲ修正ス漸次此ノ如ク教練シ其回数増加スルニ從ヒ迅速且正確ニ爲シ得ルニ至ラシムヘシ而シテ之レニ熟練スルニ至リ始メテ號令ニ應シテ裝填スルヲ教練ス可シ



彈藥ノ抽出モ亦右ノ要領ニ準シテ教練スルモノトス

第四 敬禮

本週ニ於テハ執銃ニ於ケル敬禮ヲ教練スルニアリ停止シアル  
將校ニ對シテ敬禮スル場合ニ於テハ確實ニ銃ノ取扱ヲ爲シ及  
ヒ注目ノ要領ヲ了解セシム可シ若シ行進シアル將校ニ對スル  
敬禮ニ於テハ兵卒將校ヲ距ル幾何歩前ニテ停止スレハ適當ノ  
時ニ於テ捧銃ヲ爲シ得ルヤヲ自得セシム可シ之レ停止ノ時機  
遅クシテ將校ヨリ三步前ニテ捧銃ヲ爲シ終ラサルカ如キコト  
ナカラソカ爲メナリ其ノ教練ノ方法ハ前ニ施行セル敬禮演習  
ノ要領ニ依ルヲ適當トス擔銃ニアル兵卒將校ヨリ三步前ニ於  
テ捧銃ヲナシ終ラソトスルニハ新兵ハ行進シ來ル將校ヲ去ル  
約十歩前ニ於テ停止スルヲ要スルナラソ此距離ハ兵卒各自ニ  
知得シアラサルヘカラサルナリ

第五 散兵教練

本週ニ於テハ新兵稍銃ノ使用ニ熟シ射擊學理ノ一端ヲ知リ得  
ルニ至リタルヲ以テ各個散兵ノ教練ヲ始ムルヲ可トス元來散  
兵教練ノ目的ハ操典ニ明示セル如ク地形ヲ利用シテ停止シ、  
行進シ及射擊スルコトヲ教練スルニアリ  
此教練ヲ爲スニ當リ以上ニ示セル三種ノ動作ヲ同時ニ教育セ  
ソト欲スルハ適當ノコトニアラサルヘシ何トナレハ此ノ如キ  
ハ新兵ノ能力ニ於テ決シテ理解シ能ハサレハナリ宜シク適當  
ニ此動作ノ區分ヲ爲シ尤モ容易ニ理解セシムルノ方法ヲ求ム  
ヘキナリ此レ教育ノ順序上尤モ必要ナルコトナリトス  
右ノ理ニ從ヒ左ノ區分ニ據リテ教練スレハ容易ニ右ノ諸動作



ヲ理解セシムルヲ得ル者ナリト信スルナリ

第一 地物ノ應用（即チ銃ノ命中効力ヲ増大セシムヘキ地形及地物ヲ識別シ及之ヲ應用スル方法）

第二 行進及停止（散兵ノ目標ニ向ヒ眞直ニ行進スルコト及其姿勢、歩度、銃ノ保持及停止スルヤ直ニ適當ノ地ヲ占領スルノ動作）

第三 射撃（攻撃及防禦ニ在テ狀況ニ應シ適當ニ射撃スルコト）

右ノ各項ハ新兵進歩ノ度ニ應シ順序ニ教練スルモノニシテ本週ニ於テハ唯其第一ノ課目ヲ實施スルヲ以テ適當ナル程度ナリトス第二第三ノ演習ハ第一ノ演習ニ熟シタル後始メテ之レヲ教練スヘシ

左ニ本週ニ於ケル此教練實施ノ要領ヲ略述セゾトス

### 散兵教練第一演習

此教練ノ目的ハ前ニ述ヘタル第一ノ要領則チ地物ノ應用ヲ了解セシメントスルニアリ

此教練ハ新兵掛將校ヲ以テ教官トナシ成ルヘク各種ノ地形及地物ニ付キ諸方向ニ對シテ之ヲ利用スルコトヲ演習スヘシ此時ニ於テハ未タ假設敵ヲ設クス唯敵ノ方向ノミヲ示シ其方向ニ依リテ其地物ヲ利用スルニ慣レシムヘシ

教官ハ演習スヘキ地ニ其部隊ヲ導キ單簡ニ地物ヲ利用スルノ主趣及利用スルノ必要ナルコトヲ説明シ次ニ之ヲ利用スル方法ヲ説明ス然レトモ此説明ハ成ルヘク單簡ナルヲ勉ムヘシ之レ一タヒ之ヲ實行セシムルハ百タヒ説明スルヨリモ容易ニ理



解シ得ル者ナレハナリ次ニ助手ノ上等兵ヲシテ二三ノ例ヲ示  
サシメ教官ハ其理由ヲ説明シ新兵稍之レヲ理解スルニ至ルヤ  
各教育班ヨリ一人ツ、ノ新兵ヲ呼出シ之ヲ實施セシムル爲メ  
左ノ如ク命スヘシ

敵ハ彼ノ方向ニアリ我散兵ハ此地ニ停止ス汝等ハ彼點ヨリ  
彼點ニ至ル間(約二十米突)ニ於テ尤モ有利ナリト信スル地  
點ヲ隨意ニ占領セヨ

茲ニ於テ新兵ハ直ニ其地點ヲ占領ス教官ハ列中ノ新兵ヲシテ  
其占領法ヲ視セシメ尙列兵ニ對シテ左ノ問答ヲナセリ

「教」 今各兵ノ占領セシ位地ニ不同意ノ者ハ銃ヲ舉クヨ  
(不同意ノ兵卒ハ銃ヲ舉ク)

教官則チ銃ヲ舉クタル内ノ一名ヲ呼出シ其新兵ヲシテ自ら適

當ナリト信スル地點ヲ占領セシム此新兵ハ直ニ一ノ地點ヲ占  
領セリ

「教」 他ニ異ナル意見ノ者アラハ銃ヲ舉クヨ (銃ヲ舉ク  
ル者二人)

教官此二人ヲ出シ又動作ヲ行ハシム凡テ一ノ動作ニ付キ其可  
否ハ直ニ教官ヨリ講評スルコトヲ避ケ列兵ノ内ニ於テ成ルヘ  
ク適當ノ意見ヲ有スル者ヲ求ムヘシ此方法ニ依ル時ハ新兵ハ  
競テ適當ノ要領ヲ研究スルニ至ルヘキナリ而シテ其意見ハ之  
ヲ口答セシムルコトナク成ルヘク直ニ之ヲ實行セシムヘシ之  
レ尤モ適切ナル教育法トス

「教」 林ノ占領セシ地點ニ同意ノ者ハ銃ヲ舉クヨ (銃ヲ  
舉クル者多シ)



「教」 林其地ヲ占領セシ理由ハ如何

「林」 敵ニ對シ尤モ能ク隱蔽シ得ヘシ

「教」 森地物ヲ利用スルハ何ノ爲メカ

「林」 射撃ノ効力ヲ増サン爲メナリ

「教」 杉孰レノ地點カ尤モ射撃ノ爲メニ有利ナルヤ

「杉」 柏ノ占領セシ地點ナリ

凡ソ試問ハ一ノ新兵ニ就テハ必ス一ノ單簡ナルコトヲ以テシ  
直ニ他ノ新兵ニ向テ他ノ試問ヲ爲ス如クスルヲ可トス此方法  
ニ依ル時ハ僅少ノ時間ニ於テ多クノ新兵ヲ試問シ得ルヲ以テ  
全般ノ新兵ヲシテ退屈セシムルノ慮ナク且ツ常ニ其注意ヲ換  
起スルヲ以テ大ニ演習ノ利益ヲ得ルモノトス此ノ如ク試問ヲ  
爲シタル後新兵中ニ見カキニ選リ始メテ教官ハ各地點ノ

利害ヲ講評シテ一層ノ知識ヲ發揚スルヲ謀ルヘシ例ヘハ第一  
ノ地點ハ能ク隱蔽スルモ銃ノ委托充分ナラス第三ノ地點ハ多  
少敵ニ暴露スルモ射撃上ニ有利ナリ故ニ第三ノ地ヲ撰ムハ適  
當ナリ第二ノ地點ハ此ノ如キ利アルモ此ノ如キ害アリ等是レ  
ナリ

右ノ如ク講評終レハ其兵ヲ列中ニ復セシメ次ニ他ノ地物ニ移  
ルカ或ハ同一地物ニ於テ少シク敵ノ方向ヲ變シ然ル後前ト同  
一ノ方法ニ依リ一地區ヲ指示シテ之ヲ占領セシメ之ヲ試問シ  
之ヲ修正シ或ハ其理由ヲ述ヘシメ次ニ之レヲ講評ス此ノ如ク  
假令同一ノ地物ト雖トモ敵ノ方向ヲ變スルトキハ各種各様ノ  
状態ヲ生スルヲ以テ遠ク地形ヲ求ムル爲メ往復ノ時間ヲ徒費  
スルコトナク僅少ノ時間ニ於テ多クノ動作ヲ爲スヲ得ヘシ此



「敵」 林其地ヲ占領セシ理由ハ如何

「林」 敵ニ對シ尤モ能ク隱蔽シ得ヘシ

「敵」 森地物ヲ利用スルハ何ノ爲メカ

「林」 射撃ノ効力ヲ増サン爲メナリ

「敵」 杉孰レノ地點カ尤モ射撃ノ爲メニ有利ナルヤ

「杉」 柏ノ占領セシ地點ナリ

凡ソ試問ハ一ノ新兵ニ就テハ必ス一ノ單簡ナルコトヲ以テシ  
直ニ他ノ新兵ニ向テ他ノ試問ヲ爲ス如クスルヲ可トス此方法  
ニ依ル時ハ僅少ノ時間ニ於テ多クノ新兵ヲ試問シ得ルヲ以テ  
全般ノ新兵ヲシテ退屈セシムルノ慮ナク且ツ常ニ其注意ヲ換  
起スルヲ以テ大ニ演習ノ利益ヲ得ルモノトス此ノ如ク試問ヲ  
爲シタル後新兵中全ク意見ナキニ至リ始メテ教官ハ各地點ノ

利害ヲ講評シテ一層ノ知爾ヲ發揚スルヲ謀ルヘシ例ヘハ第一  
ノ地點ハ能ク隱蔽スルモ銃ノ委托充分ナラス第三ノ地點ハ多  
少敵ニ暴露スルモ射撃上ニ有利ナリ故ニ第三ノ地ヲ撰ムハ適  
當ナリ第二ノ地點ハ此ノ如キ利アルモ此ノ如キ害アリ等是レ  
ナリ

右ノ如ク講評終レハ其兵ヲ列中ニ復セシメ次ニ他ノ地物ニ移  
ルカ或ハ同一地物ニ於テ少シク敵ノ方向ヲ變シ然ル後前ト同  
一ノ方法ニ依リ一地區ヲ指示シテ之ヲ占領セシメ之ヲ試問シ  
之ヲ修正シ或ハ其理由ヲ述ヘシメ次ニ之レヲ講評ス此ノ如ク  
假令同一ノ地物ト雖トモ敵ノ方向ヲ變スルトキハ各種各様ノ  
状態ヲ生スルヲ以テ遠ク地形ヲ求ムル爲メ往復ノ時間ヲ徒費  
スルコトナク僅少ノ時間ニ於テ多クノ動作ヲ爲スヲ得ヘシ此



ノ如ク巧ニ演習ヲ施行シ成ルヘク列兵ヲシテ一人モ實地ニ就テ動作セサル者無キ如ク各種ノ地物ヲ占領セシムルヲ謀ルヘシ

然レトモ長ク同一ノ地物ノミニ付キ演習スル時ハ遂ニハ倦怠ヲ生スヘキヲ以テ適當ノ時之ヲ變換スルハ必要ナリ而シテ其地物ハ操典ニ示セル如ク「樹木、牆壁、溝壕、僅少ナル土地ノ凹凸及生籬等トス」其他教練ノ進歩ニ應シ防禦ニ於ケル銃眼ノ射撃、陷壕ノ急造其他現在ノ地物ヲ改造スル要領等ヲ編密且適切ニ教示ス而シテ部隊ノ此地物ヨリ他ノ地物ニ移ル時ハ之ヲ集合シテ行進シ演習ハ各地區毎ニ施行スルモノトス此ノ如ク教練シ終レハ新兵ハ停止ニ際シテ位地ヲ撰定スルノ要領及地物ヲ利用シテ銃ヲ委託スルノ方法ヲ了解シ得ルモノ

ナリトス

此教練ニ於テ教官タル士官ハ專ラ列中ノ者ニ對シテ説明ヲ爲シ傍ラ實施セシ新兵ヲシテ之レヲ聞カシム而シテ助教タル下士ハ各其教育班ヨリ出テタル新兵ニ付キテ其細部ノ修正及教育ヲ爲スモノトス

#### 第六 豫行演習

本週ニ至レハ新兵ハ稍射撃ノ姿勢ニ熟練スヘキヲ以テ發射ノ要領ヲ教練スヘシ之レカ爲メ尤モ射撃ニ熟練セル下士ヲ撰拔シテ此ノ教練ヲ擔當セシムヘシ此ノ如クスルトキハ其教育ハ尤モ適切ニ實施スルヲ得ヘキモノトス何トナレハ射撃術ニ熟練ナル下士ハ其要領ヲ説明スルコト適切ナルヲ以テ新兵ノ之ヲ了解スルコト亦タ從テ容易ナレハナリ



之レカ爲メ演習場ノ一方ニ托架ヲ設ケ各教育班ヨリ二名ツ、  
 ヲ出シテ一部隊ヲ編成シ射撃掛下士ヲシテ之ヲ教練セシムル  
 ヲ可トス此時下士ハ先ツ引金ニ於ケル指ノ作用ヲ教ニ次ニ托  
 架ヲ用テ發射ノ要領ヲ教ニ助手ノ上等兵ハ精圓的ノ說明ヲナ  
 ス  
 此教練ハ特別ニ時間ヲ設ケス全演習時間絶ニス實施スルモノ  
 トス故ニ各教育班ヨリ出シタル兵卒ハ順次之レヲ交代セシム  
 ヘシ

### 第六週ニ於ケル演習課目

- 一、行進間ノ右轉回(速歩駐歩ニテ)
- 二、充填及彈藥ノ抽出(號令ナク)
- 三、速歩及步調止メ
- 四、射撃姿勢
- 五、行進中ノ膝姿、伏姿及退歩
- 六、各個ノ整頓
- 七、野外演習(散兵ノ行進停止)

#### 第一 行進間ノ右轉回

此ノ演習モ最初號令ナク新兵ニ十分ノ猶豫ヲ與ヘテ確實ニ  
 (速度ノ緩急ヲ問ハス)施行セシメ漸次熟練スルニ至リ號令ヲ



以テ動作セシムヘシ此ノ如クスルトキハ前週轉回ノ時ニ於テ  
述ヘシ如ク週舉動ヲ以テ教練スルカ如キ必要ナカルヘシ其方  
法左ノ如シ

隊形及説明

新兵ヲ一步間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ如ク説明ス

右翼ヨリ順次ニ前進シ十四五歩進メハ廻レ右前ヘテ爲シ再  
タヒ列前ニ來リシ時廻レ右止レノ動作ヲ爲セ(此ノ時教官  
ハ模範ヲ示シツ、單簡ノ説明ヲ加フ)

實施

一番ヨリ順次ニ動作シ教官之ヲ修正ス此時上等兵ハ停止間ニ  
テ轉回スル要領ヲ自習セシム

第一次ノ動作ニ於テハ大體ニ付キ要領ニ從テ後方ニ轉回シ得

レハ足レリトス故ニ姿勢ノ如キハ先ツ之ヲ問フコトナク時ト  
シテ新兵ヲシテ其足ノ動作ヲ見セシムルモ可ナリ其後稍要領  
ヲ得ルニ從ヒ漸次其速度ヲ早メ且姿勢ヲ保持セシムルヲ勉メ  
速ニハ正規ノ如ク爲シ得ルニ至ラシムヘシ  
行進間ノ右轉回ハ速歩ト駈歩ト全ク同要領ナルヲ以テ速歩ヲ  
以テ要領ヲ了解スレハ駈歩ノ者ハ容易ニ之レヲ實施シ得ヘシ  
故ニ先ツ速歩ノ右轉回ニ熟練セシメ然ル後駈歩ヲ以テスルノ  
方法ヲ教練スヘシ

第二 充填及彈藥ノ抽出

此ノ教練ノ順序、方法及趣旨ハ裝填ノ時ニ於テ述ヘタルト同  
様ニシテ期スル所、成ルヘク迅速ニ實施セシムルニ在リテ決  
シテ部隊ノ齊一ナルニアラサルヲ以テ此主意ニ依リ教練スル



ハ必要ナルコトトス

百六

第三 速歩及歩調止メ

本週ニ至レハ歩調ハ稍嚴正ニ實施シ得ヘキ者ナリトス而シテ其歩幅ハ成ルヘク之ヲ廣カラシメ十分ニ脚ヲ伸スニ注意セシムヘシ操典ニ示セル要領ニ從ヒ善良ニ行進スレハ躰軀少ナル兵卒ト雖トモ八十珊知米突ノ歩幅ヲ蹈ムハ容易ナルコトニシテ躰軀大ナル兵卒ハ往々九十珊知米突ノ廣サニ至ルコトアリ然レトモ此ノ如キハ敢テ咎ムヘキコトニアラサルヘシ何トナレハ操典ハ如何ナル兵卒ト雖トモ尤モ容易ニ實施シ得ヘキ者ヲ度トシテ尺度ヲ示シタル者ナルヘシ故ニ之レヨリ歩幅ノ狭キニ至ルハ決シテ許スカラサルコトナリト雖トモ若シ尙廣キ歩幅ヲ以テ全隊確實整正ニ行進スルヲ得ハ之レ最モ望ムヘシ

キ者ニシテ決シテ之ヲ禁止スヘキ者ニアラス寧ロ反テ之レヲ獎勵スヘキ者ナリトス故ニ成ルヘク歩幅ヲ廣クスルヲ勉ムヘシ

然レトモ其速度ハ最初稍之レヲ緩ニシテ能ク其歩法ノ要領ヲ了解セシムルヲ勉ムヘシ然シテ已ニ要領ヲ了解シ終レハ定規ノ速度ハ勉メテ之レヲ蹈マシムルヲ要ス然ラサレハ部隊教練ニ至リテ正規ノ要領ヲ失フ如キ害アル者トス以上ハ速步行進ノ復習ニ際シ注意スヘキコトナリトス其他本週ニ於テハ歩調止メノ教練ヲ爲スヘシ元來歩調止メノ教練タル特別エ之レカ時間ヲ費シテ教練スルノ價值ナキ如シ然レトモ歩調ヲ止ムルモ決シテ上躰ノ姿勢ヲ亂サ、ルコトニ慣練セシムル爲メ屢々速歩ヨリ歩調ヲ止メ及ヒ再ヒ歩調ヲ取ルコト



ヲ教練スルハ必要ノコトナリトス左ノ方法ニ依レハ速歩行進ヲ復習スルト同時ニ右ノ教練ヲ實施スルヲ得ヘキ者トス

隊形及説明

新兵ヲシテ一列側面トナシ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス

六歩ノ距離ヲ以テ前進、上等兵ノ處ニテ（先頭ヨリ五六歩ノ地）步調ヲ止メ教官ノ處ニ至レハ再ヒ步調ヲ取レ、步調ヲ止ムルモ上體ハ正確ニ保持スヘシ

實施

各新兵ハ逐次ニ前進シ指示サレタル如ク實施シ教官之ヲ修正ス

此演習モ亦號令ナク新兵ハ各自ニ指示ノ點ニ於テ步調ヲ止メ及ヒ再ヒ步調ヲ取ル者トス

第四 射撃ノ姿勢

此教練ハ射撃教範ト操典トニ依リテ教育ヲ爲スヘキ者ニシテ最初銃ヲ携ヘスシテ演習スルコトハ豫行演習ノ時已ニ之レヲ教練セルヲ以テ本週ニ於テハ銃ヲ携エテ演習シ勉メテ新兵ヲシテ確實ナル姿勢ノ要領ヲ自得セシム

隊形及説明

新兵ヲ一歩間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ如ク説明ヲ爲ス各兵ハ余ノ汝等ノ前面ニ至ル時如斯（教官立射、膝射、伏射ノ模範ヲ示ス）姿勢ヲ取レ

實施

各兵逐次ニ示サレタル姿勢ヲ取ル此ノ時教官ハ足ノ位置、銃尾ヲ肩ニ懸スルノ度、兩肘ノ要



側ヲ教示シ又膝射ノ姿勢ハ尤モ射手ノ體格ニ依テ斟酌スルヲ要スルヲ以テ各人各個ニ適當ノ修正ヲ爲サ、ルヘカラス此ノ如クシテ終ニ照準線ヲ取ルコト及發射ノ爲メ呼吸ノ要領等ヲ教練ス

第五 行進中ノ膝姿、伏姿及ヒ退歩

此演習モ最初號令ヲ用フルコトナク又新兵ヲシテ運動間絶ヘズ順環シテ實施セシムルヲ得ヘキ方法ヲ撰ムヘシ而シテ行進中ノ膝姿及伏姿ヲ取ラシムルニハ左ノ方法ニ據ルヲ可トス

隊形及説明

新兵ハ一步間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス  
右翼ヨリ逐次ニ前進シ教官ノ前ニ至レハ膝姿(伏姿)ヲ取り又直ニ前進セバ次ノ者ハ右翼兵教官ノ前ヲ去ルヲ見レハ直

ニ行進ヲ起シ同一ノ動作ヲ爲セ

實施

右ノ方法ニ依リ右翼ヨリ順次ニ動作シ教官ハ之ヲ修正ス此ノ如クスレハ教官ハ一々毎兵ニ號令シ若シクハ告諭スルノ手數ナク教官ノ前ニハ常ニ交代シテ新兵ノ來リ動作スルヲ以テ教練ハ多ク之ヲ實施スルコトヲ得又修正モ甚タ容易ナリトス

退歩ノ爲メニハ左ノ方法ニ據ルヲ可トス

隊形及説明

新兵ハ一步間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス  
右翼ヨリ順次ニ退歩(教官模範ヲ示ス)ヲ爲シ上等兵ノ處ニテ(列線ヨリ約五六歩)停止スヘシ



實施

一番ハ右ノ如ク動作シ停止スルヤ二番ハ直ニ動作ヲ始ム教官ハ之ヲ修正ス此時教官ハ側方ニ在テ歩幅及姿勢ヲ修正シ助手ハ正面ニ在テ眞直ニ退歩スル如ク修正スルヲ可トス

第六 各個ノ整頓

整頓ノ要領及其動作ノ順序ヲ確實ニ了解セシムルニハ一部隊同時ニ整頓ヲナサシムルノ前先ツ各個ニ之ヲ教練スルヲ順序トス之レカ爲メ上等兵ヲ基礎トシテ之ニ整頓セシムヘシ此教練ニ於テモ兵卒ノ意中ニ十分準備ノ猶豫ヲ與フル爲メ最初ハ號令ヲ用ユルコトナク告諭ニテ動作セシメ以テ綿密ニ之レヲ修正スヘシ其後稍熟練スルニ至レハ號令ヲ以テ一名或ハ二三名同時ニ動作セシム此ノ如ク教練セシ後ハ部隊教練ニ至リ稍

正確ニ整頓シ得ルニ至ルヘキナリ  
操典ノ趣旨ニ依レハ各兵卒ノ間隔ハ目測ヲ以テ之レヲ保持セシムルニ在リ然レトモ最初ニ於テ新兵未タ其適當ノ間隔ヲ目測スルノ習慣ヲ得サル間ハ一ノ手段トシテ左手ヲ舉クテ間隔ヲ保タシメ已ニシテ稍之レヲ記憶シ得ルニ至ルヤ左手ヲ舉クメシテ間隔ヲ保ツカ如ク教練スルヲ要ス

第七 散兵教練第二演習

此演習ノ目的ハ先週ニ述ヘタル散兵教練ノ趣旨ニ從ヒ其第二項ノ要件則新兵ヲシテ地形ヲ利用シテ行進シ停止スルコトヲ教練スルニアリ  
散兵ハ敵ニ向テ眞直ニ行進シテ其方向ヲ誤ラス又停止スルヤ第一演習ニ於テ教練セシ如ク銃ノ効力ヲ増大スヘキ地點ヲ撰



ミテ位地スヘキナリ之レカ爲メ此演習ニ於テ主トシテ教練セ  
ント欲スル要件ハ左ノ如シ

散レノ令ニテ各兵ノ爲スヘキ動作、步度、及銃ノ持方  
前へ、後トへ、斜メ右、前へ駈歩、等ノ動作  
止レ、膝姿、伏姿、ノ動作

此教練モ亦新兵掛將校ヲ以テ教官トナシ各教育班長之ヲ補助  
ス演習ノ目的右ニ示ス如クナルヲ以テ未タ假設敵ヲ設クルヲ  
要セス唯成ルヘク遠距離ニ於ケル目標ヲ指示シテ敵ノ位地及  
行進方向ヲ定ムヘシ

新兵部隊ハ一地ニ集合シ敵方ニ面シテ位地ヲ占メ各教育班長  
ヲシテ約二三十歩前方ニシテ新兵ヲ停止セシメント欲スル地  
點ニ至ラシム

教官ハ列ニ向テ散兵ノ銃ノ保持方、姿勢、步度等所要ノ説明  
ヲ爲シ次ニ左ノ如ク命スヘシ

敵ハ彼ノ線ヲ占領ス我散兵ハ彼ノ點(著明ノ目標ヲ示ス)ニ  
向テ前進ス各教育班長ハ約二三十歩以内ニ於テ停止セシム  
ヘシ

此ニ於テ教官ハ各教育班ニ於テ一伍ヲ指示シテ散レノ號令ヲ  
下ス指示セラレタル新兵ハ直ニ前進ス此時教官ハ其姿勢、銃  
ノ保持、行進ノ速度等ヲ修正シ且其可否ヲ列兵ニ説明ス各教  
育班長モ亦各其班ノ新兵ニ付キテ諸動作ノ修正ヲ爲シ約二三  
十歩以内ニ於テ適當ノ地物ヲ撰ミ停止ノ號令ヲ下シ以テ其地  
物ノ利用法ヲ修正シ之ヲ終レハ一地ヲ指シテ教練ヲ終リタル  
新兵ヲ集合セシム此時行進方向ノ監視ヲ爲シ且之ヲ修正セ



爲メニハ各教育班ノ上等兵ヲ後方ニ停止セシメ正シク目標ニ對シテ行進スルヤ否ヤヲ監視セシメ之ヲ修正セシムルヲ便トス

教官ハ逐次此ノ如クシテ全部隊ヲ教練シ終レハ各教育班ハ約二三十步前方ニ於テ稍一線ニ集合スルニ至ルヘシ  
右ノ演習ヲ終レハ新兵ハ散レノ號令ニテ發進シ及ヒ行進スルノ要領ヲ一回教練シ終リタル者ニシテ要スレハ尙之レヲ復行スヘシ

此演習ニ在テハ停止スルモ射撃ハ之ヲ行ナハサル者トス  
已ニシテ此動作ノ要領ヲ了解スルニ至レハ教官ハ右ノ要領ニ準シ一伍ツ、ヲ前面ニ出シ已ニ散開シアル者ト做シ其後ニ於タル散兵ノ運動ヲ教練ス之カ爲メ教官ハ前ヘノ號令ヲ下シテ

前進セシメ又其進行中ニ於テ斜メ右或ハ駈歩等ノ號令ヲ下シ新兵ヲシテ其動作ヲ實施セシム各班長ハ各其教育班ノ新兵ニ付キ斜行進ノ方向駈歩ノ要領等ヲ修正シ約二三十步ニ於テ停止ノ號令ヲ下シテ停止セシメ前ト同一ノ修正ヲ爲ス教官ハ順次此ノ如ク前進セシメテ全部隊ノ教育ヲ終ル

右ノ要領ニ從ヒテ教官ハ一地區毎ニ自ラ號令ヲ下シテ躍進ヲ爲スノ要領及ヒ突撃ノ時ニ於ケル行進法及ヒ其銃ノ保持方等ヲ教育シ若シ要スレハ同一ノ動作ヲ復行セシメ教官班長ヲシテ之レヲ修正セシム

此ノ如ク教官自ラ教練ノ全般ヲ指揮號令シ其間絶ヘス列兵ニ向ツテ現ニ目視スル所ノ他ノ新兵ノ動作ニ付キ其可否ヲ説明シ或ハ之ヲ試問シ或ハ其理由ヲ云ハシメ又教育班長ノ修正ニ



於テ不十分ノ點アルトキハ之レニ注意ヲ與ヘ或ハ之ヲ講評シ以テ新兵ヲシテ漸次適當ノ動作ヲ爲シ得ルニ至ルヲ謀ルヘシ

此教練ヲ終レハ各新兵ハ散兵トナリテ行進シ停止スルノ要領ヲ知得シ得タルモノニシテ尙此ノ要領ニ從ヒ各種ノ地形ニ於テ屢々之ヲ教練スレハ大ニ其動作ノ精練ヲ求ムルヲ得ヘシ此ノ如キ方法ニ從テ教育スレハ教官ハ常ニ教練ヲ統括スル者ナルヲ以テ各教育班ノ進歩ヲシテ齊一ナラシムルヲ得ヘク又新兵進歩ノ程度ニ應シテ其要求ノ程度ヲ定ムルヲ得ヘク又教官ノ説明ヲシテ常ニ全新兵ニ聞カシムルノ利ヲ得ヘク又未熟ナル教育班長ト雖トモ專ラ教官ノ指示スル點ニ付テ注目スレハ其修正ヲ爲スモ容易ナルヘク又教官ハ教育班長ノ修正ニ於テ不十分ノ點アルトキハ直ニ之レカ注意ヲ與フルノ便ヲ得ヘシ而シテ又新兵ハ順序能ク諸動作ノ教練ヲ受クルヲ以テ其要領ヲ了解スルコト容易ナルヘシ今此方法ヲ以テ現時往々見ル所ノ如キ此教育ノ全部ヲ教育班長タル下士ニ一任シテ實施セシメ教官ハ唯之レヲ監視シアルカ如キモノニ比スレハ其利益ノ大ナル亦多辯ヲ要セサルヘシ



### 第七週ニ於ケル演習ノ課目

一、整列検査 (立銃 擔銃 捧銃ノ姿勢)  
 二、速歩 (徒手ニテ二人正面ノ行進及ヒ銃銃ニテ各個ノ行進)

三、裝填、充填及射撃 (號令ニテ)

四、野外演習 (前哨勤務 複哨ノ動作)

五、豫行演習 (教練射撃ト同一ニス)

第一、整列検査 (立銃 擔銃 捧銃ノ姿勢)

新兵整頓ノ要領ヲ了解スルニ至レハ姿勢及整列ノ検査ヲ行フ  
 此目的ハ全教育班ノ姿勢ヲシテ齊一ナラシメ部隊教練ニ至リ  
 其ノ姿勢、銃ノ保持、及整頓ヲシテ齊一ナラシメント欲ス

ルニアリ

之レカ爲メ各教育班ハ一列横隊トナリテ互ニ六歩ノ距離間隔  
 ヲ取り各教育班長ハ検査前其教育班ヲ尤モ綿密ニ整頓セシメ  
 立銃ノ姿勢ヲ取ラシム此時班長ハ側面ヨリ十分綿密ニ之ヲ修  
 正シ踵ノ線、胸ノ線、眼ノ線、銃踵ノ位地、銃口ノ線等ヲ整  
 ク同一線ニ在ラシムル如クスルヲ要ス而シテ其ノ班ノ新兵十  
 分整列シ得タル後ハ自ラ其右翼ニ付キ新兵掛教官ノ検査ヲ待  
 ツ

新兵掛教官ハ第一班ヨリ検査ヲ始ム第一班ノ検査終レハ此班  
 ヲシテ次ニ取ルヘキ姿勢假令ハ擔銃ヲ爲スヘキコトヲ命シテ  
 第二班ニ移ル

第一班ハ次ニ擔銃ヲ命セラレタレハ班長ハ其班ニ擔銃ヲ爲サ



シノ前ノ要領ニ從ヒ其姿勢ヲ十分綿密ニ修正ス即チ銃口ノ高サ、銃ノ方向、槓杆ノ線、右手ノ線、ヲシテ皆同一線ニアル如クナサシム此ノ如ク修正シ終レハ班長ハ又其右翼ニ付キ教官ノ検査ヲ待ツ

教官第二班ノ検査終レハ次ニ此班ノ取ルヘキ姿勢ヲ命シ第二班長モ亦第一班ニ示セル要領ニ從ヒ命セラレタル姿勢ヲ取ラシメ之ヲ修正ス

教官ハ順次第三、第四班ノ検査ヲ爲シ之ヲ終レハ再ヒ第一班ヨリ検査ヲ始メ又各班ニ次ニ取ルヘキ姿勢假令ハ排銃ヲ爲スヘキヲ命シ又更ニ其姿勢ヲ検査ス排銃ニ在テハ班長ハ左手ノ線、銃口ノ線、床嘴ノ線、ヲ同一線ニアラシムル如ク修正スルヲ要ス此検査終レハ教官ハ各班長ヲ集メテ講評ヲナシ後來

ノ注意ヲ示ス

第二 速度

本週ニ至レハ速度ハ已ニ熟練スルニ至ルヘキ時期ナリトス而シテ新兵各個ノ行進ニ熟スルノ後ハ二人正面ヲ以テ行進セシムルコトヲ演習スヘシ其目的ハ全新兵ヲシテ齊一ナル動作ヲ爲サシムル如ク教練シ以テ部隊教練ヲ齊一ニセントスルニアリ經驗ニ依ルニ新兵ニシテ假令各個ノ動作ニ巧ミナル如キ者ト雖モ若シ二人ヲ合シテ動作セシムルトキハ又幾分力互ニ斟酌修正スヘキ點アルヲ發見スルモノナルヲ以テ時々二人ノ正面ヲ以テ演習スルニ必要ナリトス教官ハ此時ニ於テハ主トシテ此注意ヲ以テ修正ヲ爲スヲ要ス然レトモ各個ノ行進ハ決シテ之ヲ止ムルコトナク絶エス演習スルモノトス



又新兵ヲシテ鼓笛手ノ奏樂ニ步調ヲ合スルコトニ慣レシムル  
爲メ時トシテ奏樂ト共ニ速歩ノ演習ヲ爲スヲ要ス然ル時ハ新  
兵ハ勇壯活潑ニ行進スルノ利益アリトス

此演習ノ方法及要領ハ前屢々施行セシ者ト同シ

又本週ニ至レハ執銃行進ヲ始ムヘシ此レカ爲メニハ最初ニ於  
テハ停止間先ツ擔銃ヲ爲サシメ十分之レヲ修正シタルノ後其  
姿勢ヲ亂サスシテ行進セシムルヲ勉ムヘシ其實施ノ方法ハ徒  
手ニテ演習スル者ト異ナルコトナク唯教官ハ擔銃ノ姿勢ヲ修  
正スルト同時ニ步法ノ修正ヲモ爲スヲ要ス

### 第三 裝填、充填及射擊

本週ニ至レハ新兵ハ已ニ號令ナク各自ニ此動作ヲ爲スコトハ  
精之ヲ了解スルノ時期ナリトス故ニ此後ハ號令ニ應シテ確實

迅速ニ動作スルコトヲ教練ス之レカ爲メ教官ハ號令ヲ以テ最  
初ハ一人ツ、之ヲ行ヒ次ニハ二三名同時ニ之ヲ行ハシム然レ  
トモ屢々號令ナク各個ニ動作セシムルノ演習ヲ爲スハ必要ナ  
リ之レ尤モ確實ニ其動作ヲ自得セシメンカ爲メナリ  
射擊ハ豫行演習ニ於テ已ニ其要領ヲ了解スルヲ以テ其要領ニ  
從ヒ各種ノ姿勢各種ノ照尺ヲ以テ號令ナク迅速ニ照準シ沈着  
シテ發射スルコトヲ教練ス

### 隊形及説明

新兵ヲ一步間隔ノ一列横隊トナシ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス  
各兵ハ余ノ汝ノ前ニ至ル時何百米突ノ照尺ヲ取り立射(膝  
射)(伏射)ノ射撃ヲ爲セ照準點ハ前面ニアル立姿的(前面  
ノ家屋ノ右端)



各兵ハ號令ヲ各各自ニ指示サレタル動作ヲ爲シ教官ハ其ノ姿勢、銃ノ取扱、照準ノ要領、發射ノ動作、等ヲ修正ス  
助手ハ教官ノ指示ニ從ヒ各兵ニ付キ不十分ノ點ヲ復習セシム

第四 前哨勤務

新兵ヲシテ前哨勤務ノ中ニ於テ殊ニ步哨ノ動作ニ熟練セシムルノ緊要ナルコトハ論ヲ俟タズ之レ一步哨ノ過誤ハ卒テ全軍ノ安危ニ關スルコトアルヲ以テナリ故ニ之ヲ教練スルノ方法モ亦綿密且適切ナラサルヘカラス  
步哨ノ勤務ニ於テ尤モ緊要ナル任務ハ敵ヲ監察シ其狀況ヲ報告スルニアリ然シテ此事ヲ適切ニ實行スル決シテ容易ノコトニアラス然ルニ今新兵ヲシテ此困難ニシテ且重大ナル勤務ヲ

容易ニ理解セシメ確實ニ實行セシメン爲メニハ如何ナル方法ニ據ルヘキカ余ノ意見ヲ以テスレハ之レカ爲メ適切ナル方法ハ他ナシ成ルヘク此動作ヲ各節ニ區分シ各節毎ニ漸次之ヲ教育シ十分其動作ヲ了解セシムルニアリ而シテ其區分ハ左ノ各時期ニ於テスルヲ適當トス則チ

第一 步哨敵ヲ發見セシ時ノ處置

第二 敵狀ノ視察及報告

第三 小哨勤務及隣步哨トノ連絡

新兵此各時期ノ動作ニ熟練スルニ至レハ則チ之ヲ合シテ始メテ步哨ノ勤務ヲ確實ニ實施スルヲ得ルモノトス  
本週以後ニ於テハ野外演習ハ一週少ナクモ二回以上ヲ實施スルヲ可トス而シテ本週ニ於テハ先ツ右ニ示セル第一第二ノ教



練ヲ實施セントス依テ左ニ其教育方法ヲ略述セシ

歩哨勤務第一演習

此演習ノ目的ハ前ニ述フル所ノ第一ノ要旨則チ歩哨敵ヲ發見セシ時最初ニ取ルヘキ處置ノミヲ教練スルニアリ之カ爲メ新兵掛將校ハ教官トナリ新兵部隊ヲ練兵場ノ一隅ニ集合ス此ノ演習ノ爲メ多少起伏セル地區ヲ撰ンテ實施スレハ有利ナリト雖モ練兵場ニ於テスルモ亦十分ナリトス  
教官ハ下士ノ指揮ニ屬スル假設敵ヲ正面適宜ノ地點ニ差遣シ之ヲ隱匿セシム此假設敵司令ノ下士ニハ差遣ノ前所要ノ標識ヲ與ヘ且ツ爲スヘキ動作現出スヘキ地點ヲ指示シ且其ノ記號ヲ約束ス其記號ノ一例ヲ示セハ概テ左ノ如シ

旗ヲ直立セハ

騎兵斥候ヲ何地ニ出セ

旗ヲ右斜メニ出セハ

歩兵斥候ヲ右翼ニ出セ

旗ヲ左斜メニ出セハ

歩兵斥候ヲ左翼ニ出セ

旗ヲ上下ニ動かセハ

歩兵小隊ヲ正面ニ出セ

旗ヲ左右ニ振ルハ

部隊及斥候ノ前進ヲ示ス

旗ヲ圓形ニ回セハ

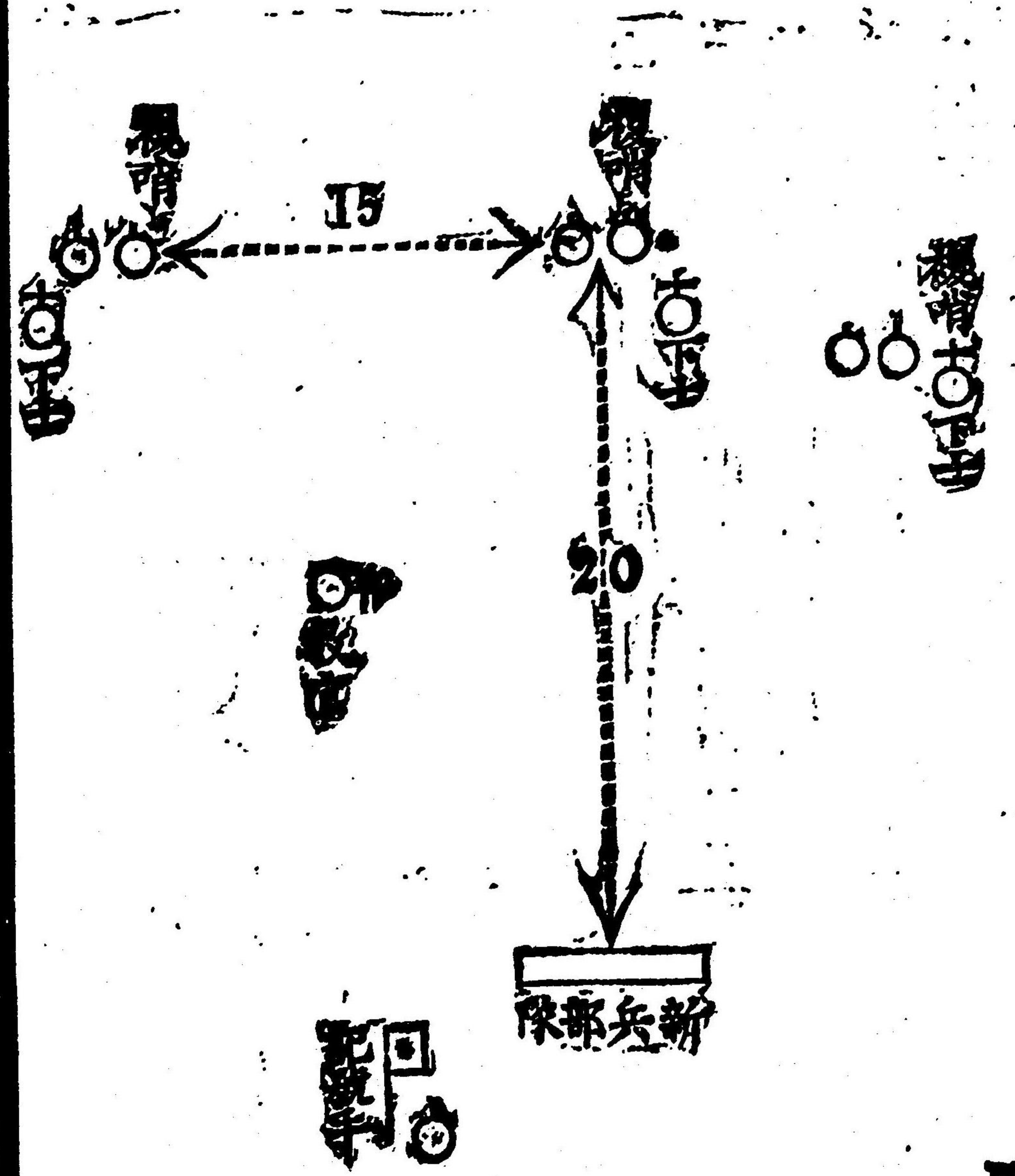
退却ヲ示ス

旗ヲ倒スハ

同 停止ヲ示ス

次ニ教官ハ新兵部隊ニ向テ前哨勤務一般ノ要旨ヲ單簡ニ説明ス(此説明ハ假設敵ノ配置終ルマテノ間ニ爲スモノトス)即チ前哨ノ要領、歩哨ノ任務、歩哨勤務ノ重要ナルコト等是レナリ其他教官ハ當日實施セントスルコトニ關シテ左ノ説明ヲ爲ス則チ





百三十

歩哨敵ヲ發見シ第一ニ取ルヘキ處置ハ左ノ三様ノ動作ナリ

第一直ニ其身ヲ隠蔽スルコト(敵ヲシテ我動作ヲ知

ラシメサル爲メ)

第二 距離ヲ測リ照尺ヲ裝スルコト(所要ノトキ發射セ

第三 他ノ一名ノ者ニ知ラシムルコト(共同ノ動作ヲ爲

サシカ爲メ)

教官ハ助手タル上等兵二名ヲ以テ複哨トナシ其動作ノ模範ヲ示ス其後新兵ヲ以テ部隊ノ正面前約二十歩ノ地點ニ三個ノ複哨(第一、第二、第三伍)ヲ出シ其複哨ハ互ニ約十五歩ノ間隔ヲ取ラシメ右翼ヨリ第一、第二、第三、複哨ノ番號ヲ附ス此複哨ノ傍ラニハ各其教育班長タル下士ヲ附シ此複哨ノ動作ニ付キ修正ヲ要スヘキコト及ヒ注意ヲ與フヘキコトアレハ之レヲ教示スルニ任ス

第七通

百三十一



次ニ此複哨及新兵ノ部隊ニ向テ左ノ任務ヲ授ク

一、敵ハ某村方向ニアリ我前哨中隊ハ(假想)何地ニアリ小

哨ハ(假想)何地ニアリ

二、各複哨ハ何處ヨリ何處ニ至ル間ヲ警戒スヘシ

(注意)敵ハ帽ニ日覆ヲ附ス白旗ハ騎兵斥候、赤旗一本ハ

歩兵小隊、歩兵斥候ハ實員ヲ用ニ

此演習ノ目的ハ前ニ述タル如ク單ニ敵ヲ發見セシ時第一ニ取  
ルヘキ處置ノミヲ教練スルニアルヲ以テ其守則モ亦右ノ如ク  
單簡ナル者ニシテ足レリトス又其構隊ノ距離間隔モ正規ノ如  
ク爲スコトナク教官ノ監視ニ便ニシテ教育ノ周到ナル爲メ成  
ルヘク之レヲ近接セシム、要スルニ新兵ノ動作ヲ確實ニ修正  
シ得ルノ目的ヲ達スレハ可ナリトス

此ノ如クニシテ演習ノ準備ハ全ク終リタリ此後ハ敵兵ヲ現出  
セシメ新兵ヲシテ之ニ應シ前ニ説明シタル三様ノ動作ヲ實施  
セシムルニアリ教官ハ假設敵ヲ現出セシムル爲メ潛カニ上等  
兵ニ命シテ所要ノ記號ヲ爲サシム此記號手ハ部隊ノ後方ニ在  
テ新兵ニ知ラシメサル如ク號旗ヲ以テ命セラレタル記號ヲ爲  
ス

假設敵ハ直ニ之ニ應シ正面前ニ於テ白旗ヲ高上シテ運動スル  
ヲ見ル是レ騎兵斥候ノ現出セルナリ三個ノ步哨ハ各自ニ之ニ  
應スル動作ヲ爲ス然シテ各步哨ノ動作ニ於テ適當ナラサルモ  
ノアラハ教官ハ之ヲ修正シ且之ヲ教育スル爲メ列中ニ向ヒ左  
ノ如キ問答ヲ爲ス

「教」林 第一複哨ノ動作ニ同意ナルヤ



「林」速ニ隠蔽セサリシハ不同意ナリ

「教」平 第二複哨ノ動作ハ如何

「平」適當ナリ

「教」東 何故ニ適當ナルヤ

「東」速ニ隠蔽セルカ故ナリ

「教」星 隠蔽スルハ何ノ爲メナルカ

「星」敵ニ我狀況ヲ知ラレサル爲メナリ

「教」西 第三複哨ノ動作ハ如何

「西」他ノ一人ニ通セサリシハ不可ナリ

「教」谷 第二複哨ハ五百米突ノ照尺ヲ取レリ夫レニテ可

ナルヤ

「谷」私ハ六百米突ト思フ

「教」宜シ

教官ハ記號ヲ以テ騎兵ヲ隠蔽セシム

各歩哨ハ又之ニ依テ動作セリ教官ハ亦左ノ如キ問答ヲ爲ス

「教」柴 何カ不同意ノ點アルカ

「柴」第二複哨ノ其儘伏臥シアルハ不同意ナリ

「教」新 何故ニ伏臥スル必要ナキヤ

「新」敵兵已ニ居ラサルカ故ナリ

次ニ教官ハ第四、第五、第六番ノ三伍ヲ以テ代テ複哨ト爲ラシム

右ノ如クニシテ第一ニ出シタル新兵ノ動作ヲ終リタリ此教練ニ於テ教官ノ問答ハ歩哨ト爲リシ者及列中者皆之レヲ聞クヲ得ヘシ故ニ其可否ハ全新兵能ク之ヲ聞キ且之レヲ理解シ得ヘ



キナリ

教官ノ新兵ニ對シテ爲スヘキ説明ハ成ルヘク減少シ勉メテ多ク列中ノ新兵ニ試問ヲナシ新兵中ニ於テ適當ノ考案ヲ有スル者ヲ求ムル如ク爲ステ可トス何トナレハ此ノ如ク多クノ試問ヲ爲ス時ハ新兵自ラ競テ諸種ノ研究ヲ爲スノミナラス絶エス注意シテ全般ノコトヲ知ルニアラサレハ直ニ答辯ヲ爲ス能ハサル爲メ常ニ油斷ナク教練ニ從事スルヲ以テ大ニ教練ノ進歩ヲ助クル利益アレハナリ之ニ反シ新兵ノ動作適當ナラサル者アルヤ教官盡ク之カ説明ヲ爲シ新兵ヲシテ長時間唯其説明ヲ黙聽セシムル如キ方法ハ決シテ有利ナル者ニアラサルナリ何トナレハ伶俐ナル新兵ニシテ已ニ其可否ヲ知ル者ハ其説明ヲ聞クコトヲ喜ハス又愚鈍ナル兵卒、説明ノ永キ爲メ倦怠ノ意

ヲ生シ折角ノ教育モ其幾部分ハ退屈ノ間ニ消失シ爲メニ教練ノ進歩ヲ害スルコト大ナルニ至レハナリ故ニ教官ノ説明ハ列中ノ新兵盡ク其處置ノ適當ナル者ヲ發見シ得サル場合ニ於テ始メテ之ヲ爲ステ可トス此時ニ於ケル懇々適切ノ説明ハ全新兵ノ好テ聞カント欲スル所ニシテ大ニ新兵ノ智識ヲ發揚スルニ効力アルノミナラス兵卒ヲシテ倦怠セシムルコトナク實ニ一舉兩得ノ良法ト云フヘキナリ

教官ハ第二回ニ復哨トナシタル新兵ヲ動作セシムル爲メ又階カニ記號手タル上等兵ニ命シテ他ノ記號ヲ爲サシム假設敵ハ之レニ應シ步兵斥候ヲ我カ右翼ノ方向ニ前進セシム各復哨ハ之ニ應シテ動作セリ此時若シ復哨ノ内直ニ之レニ應セサルモノ及ヒ照尺ノ適當ナラサルモノ、或ハ他ノ者ニ通知



セサルモノ、或ハ其身ヲ隱匿スルモ其位地適當ナラサル者、  
等ヲ見ル時ハ教官ハ皆前ノ如ク列中ノ兵卒ニ試問シ又其複哨  
ノ動作ヲ修正シ尙之レカ講評ヲ爲シ之レヲ終レハ記號ヲ以テ  
敵ノ斥候ヲ退却セシム

次ニ第七、第八、第九、番ノ三伍ヲ出シテ代テ複哨ト爲シ上  
等兵ニ命シテ又他ノ記號ヲ爲サシム之ニ依テ敵ノ步兵斥候我  
カ左翼ニ向テ前進ス此ノ時複哨ノ動作列中へノ試問等皆前ノ  
如ク施行シ之レヲ終レハ又記號ヲ以テ敵ヲ退却セシム

次ノ新兵ヲ以テ複哨ヲ交代セシムルヤ他ノ記號ヲ以テ敵ノ步  
兵小隊(赤旗)ヲ現出セシメ之ニ應スル複哨ノ動作ヲ見テ又列  
中ニ試問ヲ爲ス

此ノ如ク反覆複哨ノ動作ヲ演習セシムレハ步哨敵ヲ發見シテ

第一ニ爲スヘキ處置ハ十分ニ之ヲ教練シ得タル者エシテ新兵  
モ亦確實ニ此動作ヲ了解シ得ル者トス此動作完全ニシテ始メ  
テ其後ノ處置及任務ノ完全ヲ望ムヲ得ヘシ實ニ敵ヲ發見セシ  
時ノ第一ノ動作ハ此後ニ爲スヘキ處置ノ基礎タルヘキモノナ  
ラトス

步哨勤務第二演習

此演習ハ步哨勤務第一演習ニ熟練スルノ後教練スヘキモノニ  
シテ演習ノ目的ハ第一演習ニ於テ教練セル動作ノ後尙其步哨  
ヲシテ發見セシ敵ノ狀況ヲ視察シ之ヲ判斷シ報告セシムルコ  
トヲ教練スルニアリ新兵ヲシテ其處置ヲ適當ニ爲サシムルハ  
尤モ困難ナルコトナルヲ以テ教官ハ諸種ノ場合ニ於テ屢々之  
ヲ教練スルハ尤モ必要ナルコト、ス



假設敵ノ設置、歩哨ヲ出スノ方法、位置、歩哨ノ任務及注意ヲ與フルコト記號ヲ以テ假設敵ヲ指揮スルコト等皆前演習ト異ナルコトナシ

教官ハ新兵ニ對シ左ノ説明ヲナス

第一演習ニ於テ歩哨敵ヲ發見セシ時第一ニ處置スヘキ動作則チ身體ヲ隱蔽スルコト、照尺ヲ裝定スルコト、他ノ兵ニ通知スルコト、ヲ了解セシナラン  
依テ其後歩哨ノ爲スヘキ動作ヲ知ラサル可カラズ則チ

- 第一 確實ニ觀察スルコト
  - 第二 適當ニ判斷スルコト
  - 第三 明瞭ニ報告スルコト
- 今回ノ演習ニ於テハ第一演習ノ動作ト共ニ此三件ノ處置ヲ

爲ササル可カラズ

教官ハ此ノ如ク説明セル後猶ホ左ノ如キ注意ヲ與フルヲ要ス  
確實ニ觀察スルトハ敵ノ兵種ハ何ナルヤ、其ノ兵員ハ如何、何レノ方向ニ行進スルヤ、ヲ確ムルニアリ  
適當ニ判斷スルトハ敵ハ斥候ナルヤ、或ハ我ヲ攻撃スル者ナルヤ、或ハ他ノ方向ニ行進スル者ナルヤ、ヲ判斷スルニアリ

明瞭ニ報告スルトハ活音ヲ以テ單簡ニ報告スルニアリ之カ爲メ其語尾ハ尤モ明瞭ニ發唱スヘシ  
一人報告ノ爲メ小哨ニ至レハ他ノ一人ハ敵ニ見ラレサル如ク敵ノ狀況ヲ觀察スヘシ  
敵ノ襲撃ナルコト判然タレハ射撃ヲ以テ警報スヘシ



敵ノ斥候三百米突以内ニ接近スルカ、或ハ我レヲ射撃スル  
トキハ、歩哨モ亦之ヲ射撃スヘシ此時歩哨ハ各、異ナル敵  
兵ヲ照準スヘシ

其他教官ハ必要ナル教示ヲ與ヘ假設敵ノ配置、歩哨ノ區分等  
全ク整頓スルニ至レハ其動作ヲ始ムル者トス之レカ爲メ假設  
敵ハ教官ノ記號ニ據リ騎兵斥候ヲ前進セシム  
三個ノ歩哨ハ第一回ノ如ク動作セリ各歩哨ノ一人ハ報告ノ爲  
メ教官ノ所ニ馳セ來レリ他ノ一人ハ止マリテ監視セリ教官ハ  
一々其報告ヲ聞ク而シテ其ノ報告ハ三人共多少ノ缺點アルハ  
免レサルヘシ

教官ハ此報告法ヲ教育スル爲メ列ニ向テ左ノ如キ問答ヲ爲ス  
「教」 第一復哨ノ報告ニ同意ノ者ハ銃ヲ舉ケヨ (銃ヲ舉

クルモノ少シ)

「教」 南 如何ナル點ニ付キ不同意ナルヤ

「南」 敵ノ兵種ヲ報告セサルハ不同意ナリ

「教」 第二復哨ノ報告ニ同意ナルモノハ銃ヲ舉ケヨ (銃

ヲ舉ケサルモノ五六名)

「教」 島 不同意ノ點ヲ述ヘヨ

「島」 敵兵現ルト報告セシハ不可ナリ敵我ニ向テ前進スト

報告スルヲ可トス

「教」 第三復哨ノ報告ニ同意者ハ銃ヲ舉ケヨ (前同)

「教」 牧 不同意ノ點ヲ云ヘ

「牧」 言語明瞭ナラサルハ不可ナリ

「教」 堀 今ノ敵狀ヲ適當ニ報告セヨ



「塙」第一偵哨報告敵ノ騎兵斥候鋒ヲ左ノ杉林ヨリ向テ前  
進ス

「教」宜シ

此ノ如ク常ニ不同意者ヲ求メテ之ヲシテ其意見ヲ云ハシメ終  
リニ一名ヲ指示シテ適當ノ報告ヲ爲サシメ以テ成ルヘク教官  
ノ自ラ説明スルコトヲ避クルヲ要ス  
次ニ教官ハ止マリテ監視シアル歩哨ノ動作ヲ列中ノ兵ニ視セ  
シメ左ノ問答ヲ爲ス

「教」岡 彼ノ如ク伏臥スルノミニテ他ニ處置ハナキヤ

「岡」ナシ

「教」他ニ處置アルモノハ銃ヲ舉クヨ (坂、原ノ二人銃  
ヲ舉ク)

「教」坂 如何ニ處置スルヤ

「坂」十四五歩計リ左方ニ移轉シテ敵狀ヲ觀察ス

「教」原ハ如何スルヤ

「原」坂ノ如ク動作ス

「教」其理由ハ如何

「原」一地ニ止マルヨリモ觀察ニ益アリト思フ

「教」宜シ

「教」中ハ敵ニ至ルマテノ照尺ヲ裝セヨ

「中」ハ六百米突ヲ裝セリ

「教」宜シ

「教」楠ハ此時射撃スルヤ否

「楠」射撃セス



「教」 宜シ

「教」 源 何故射撃セサルヤ

「源」 距離遠ク効力ナキカ故ナリ

凡テ試問ハ左ニ示スカ如ク一ノ新兵ニ付キテハ成ルヘク單一ノ問ヲ與ヘテ單簡ナル答ヲ爲サシメ直ニ他ノ新兵ヲシテ次ノ答ヲ爲ス如キ方法ヲ取ルヲ可トス然ル時ハ僅少ノ時間ト雖モ多クノ新兵ニ試問ヲ爲シ得ヘク又全新兵ヲシテ絶エス油断ナク演習ニ從事セシムルヲ得ヘシ  
右ノ如クシテ一回ノ動作ヲ終レハ假設敵ヲ退却セシメ他ノ新兵ヲシテ歩哨ヲ交代シ又假設敵ヲシテ我右翼ニ歩兵斥候ヲ出サシム  
歩哨ハ之レニ應シ直ニ前ノ如ク報告シ來レリ教官ハ列中ノ新

兵ヲシテ之ヲ批評セシメ其理由ヲ言ハシメ或ハ試問ヲ爲シ種々ノ説明ト教示ヲ與フルコト前ノ如シ

敵ノ斥候ハ三百米突以内ニ近接セリ此時第一複哨ハ射撃セリ

第二複哨、第三複哨ハ尙潛匿セリ

教官ハ此ニ於テ左ノ問答ヲ爲セリ

「教」 射撃スルニ同意ノ者ハ銃ヲ舉ケヨ (皆銃ヲ舉ケタ

リ)

「教」 宜シ

教官ハ第一複哨タル澤、谷ノ二人ヲ招キ左ノ問答ヲ爲セリ

「教」 澤 射撃セル理由ハ如何

「澤」 敵ヲ撃殺シ得レハナリ

「教」 谷 照尺ハ何百ナルヤ



「谷」 三百米突

「教」 實距離如何

「谷」 二百五十米突

「教」 何點ヲ照準セシヤ

「谷」 敵ノ足

「教」 澤 何レノ敵ヲ射撃セシヤ

「澤」 右ノ斥候兵

「教」 谷ハ如何

「谷」 左ノ斥候兵

「教」 如何ニシテ之ヲ定メタルヤ

「谷」 澤 ハ右ノ敵ヲ射撃スト告ケタリ故ニ私ハ左ノ敵ヲ

射撃セリ

此複哨ノ答解ハ甚タ明瞭ニシテ且適當ナリ教官ハ大ニ之ヲ賞  
賛セリ列中ニ向テ嘗此ノ如ク爲スヘキヲ示セリ

教官ハ肥號ニテ假設敵タル斥候ヲ退却セシメ又歩哨ヲ交代セ  
シム次ニ敵ノ歩兵小隊ヲ前進セシム

各歩哨ハ隱匿シテ觀察セリ次ニ第一複哨ノ一名ハ直ニ報告ニ  
來レリ第二ハ二人共射撃シ第三複哨モ亦射撃ヲ爲シ後一人ハ  
報告ニ來レリ教官ハ之ニ依テ亦列ニ向ヒ右ノ三機ノ動作ニ付  
キ何レカ適當ナルカヲ試問シ其理由ヲ問ヒ其誤リヲ修正シ第  
三複哨ノ動作尤モ完全ナルコトヲ賞シ終リテ敵ヲシテ退却セ  
シム

此ノ如ク反覆丁寧ニ之ヲ復行シ全新兵ヲシテ十分之ヲ了解ス  
ルニ至ラシムヘシ然レトモ右ニ述ヘタル所ノモノハ唯演習經



通ノ概略ニ過キス尙此ノ如キ方法ニ依リ諸種ノ場合ヲ發生セシメ新兵ヲシテ之ニ對スル諸般ノ處置ヲ教育シ之レニ熟達セシムレハ始メテ歩哨タル一個ノ動作ニ於テ其教練ヲ終リタル者ト云フヘキナリ新兵ニシテ此ノ如ク此動作ニ熟練スルニ至リ始メテ獨立シテ此貴重ナル任務ヲ課スルヲ得ルモノトス  
 前ニ述ヘタル如ク本週ニ於ケル野外演習トシテハ以上示セル二演習ヲ實施スルヲ以テ適當ナル程度ナリト信ス而シテ其第三ノ要件ハ新兵部隊教練ヲ實施スルノ時期ニ至リテ教練スヘキ課目ナリトス

故ニ各個教練ノ課目ヲ研究スルノ時期ニ於テハ遂ニ之レヲ述フルノ機ヲ得サルヘシ然レトモ余カ此勤務ヲ教練スルノ方法トシテ撰用シタル順序ヲ明瞭ナラシメメ爲メ茲ニ其概略ノ方

法ヲ附記シテ參考ニ資セントス

歩哨勤務第三演習

此演習ノ目的ハ已ニ第一第二ノ演習ニ於テ各個ニ於ケル歩哨ノ動作ニ熟練シタル後尙新兵ヲシテ隣歩哨及小哨トノ關係、歩哨ノ交代法、小哨ニアル兵卒ノ動作ヲ教練セントスルニ在リ

此演習ニ於テハ實際ノ地形及距離間隔ヲ取ラシムルコトナク大約前演習ニ於ケル要領ニ從テ施行シ事ヲ相互ノ關係ヲ知ラシムルヲ主眼トスヘシ、若シ最初ヨリ實際ノ地形ニ於テ演習スルトキハ新兵ハ地物ノ爲メ一目シテ小哨兵及歩哨ノ動作ヲ見ルコト能ハス又教官ハ之レカ爲メ細部ノ修正ヲ爲ス能ハサルノ不利アリトス然ルニ左ノ方法ニ依ルトキハ一見シテ諸般



ノ動作ヲ知り得ヘキヲ以テ之ヲ修正スルニ便利ニシテ從テ新兵ノ此勤務ヲ了解スルモ亦容易ナルノ利益アリトス  
 教官及助手ノ任スヘキコト及ヒ假設敵ノ設置、記號ニ依リテ之レヲ動作セシムル法方等ハ前演習ニ異ナルコトナシ唯歩哨ハ小哨ノ位置ヨリ約三十歩前ニ出シ歩哨ノ間隔ハ約二十歩ヲ有セシム、之レ少シク遠ク離隔セサレハ全般ヲ通観スルニ困難ヲ生スレハナリ  
 又第一第二ノ演習ニ於テ歩哨各個ノ動作ヲ教練セシマテ此演習ニ於テ教練スヘキ課目ハ概テ左ノ諸件ヲ了解セシムルニアリ

- 第一 隣歩哨トノ連絡
- 第二 小哨トノ交通

- 第三 歩哨ノ守則及其申送り
- 第四 歩哨交代兵ノ動作、歸還後ノ報告
- 第五 銃前哨ノ勤務
- 第六 斥候兵、雜役兵ノ勤務
- 第七 小哨ニアル兵卒ノ動作

新兵部隊演習地ニ集合スルヤ教官ハ假設敵ノ配備終ルノ間概テ左ノ如キ説明ヲ爲ス

歩哨ハ動哨若クハ展望ニ依リ隣歩哨ト連絡スヘシ又緊要ナルコトハ隣歩哨ニ通知セサルヘカラス  
 歩哨ハ小哨トノ交通路ヲ熟知セサルヘカラス  
 歩哨ハ與ヘラレタル守則ハ必ス之レヲ記臆シアルヲ要ス  
 歩哨交代ノ時ハ只守則ノミナラス凡テ次番ノ歩哨ノ爲メ注



意ヲ要スルト思慮セシコトハ申送リテ爲ヌテ要ス  
 歩哨交代ノ爲メ行進スルニハ敵眼ニ觸レサル如クシ又交代  
 ノ後ハ小哨長ニ報告スルヲ要ス  
 銃前哨ハ展望シ得レハ歩哨ト連絡ヲ爲シ又上官ノ小哨ニ來  
 ルアレハ直ニ之ヲ報告スヘシ  
 小哨ニアル斥候兵ハ常ニ出發ノ準備ヲナシアルヘシ  
 小哨ノ兵ハ一人モ哨所ヲ離ルヘカラス又常ニ靜肅ニ爲シア  
 ルヘシ  
 又銃ハ混雜セサル如ク順序正シク爲シアルヘシ  
 又銃ノ傍ヲニ於テ休憩スヘキヲ命セラレタル者ハ常ニ不意  
 ニ應スルノ準備ヲ爲シアルヘシ  
 其他尙必要ノコトハ之ヲ教示シ已ニシテ準備整頓スルニ至レ

ハ小哨長ハ左ノ命令ヲ下ス  
 敵ハ某村方向ニアリ前哨中隊ハ何地(假想)ニアリ小隊ハ小  
 哨トナリ此地ニ位地ス  
 林軍曹ハ第一第二第三伍ヲ率フ何地ニ至レ  
 森軍曹ハ第四第五第六伍ヲ率フ何地ニ至レ  
 杉上等兵ハ第七第八第九伍ヲ率フ何地ニ至レ  
 柏上等兵ハ其次ノ三人ヲ以テ銃前哨ト爲セ  
 谷軍曹ハ三名ノ斥候三個ヲ編制シ小哨ハ休憩セシムヘシ  
 予ハ歩哨線ニ至ル  
 各歩哨掛ハ命令ニ從ヒ直ニ出發セリ(此行進ハ斥候ノ如ク敵  
 眼ヲ避ケテ行進ス)  
 小哨長ハ喇叭手一名ヲ伴ヒ歩哨線ニ至リ第一ヨリ順次ニ特別



守則ヲ與ヘ歸還ノ時銃前哨ニ各歩哨ノ位置ヲ示シ尙其守則ヲ  
與ヘタリ(此特別守則ハ大約要務令ニ示セル者ニ據ルヘシト  
雖トモ成ルヘク複雑ナラサルヲ可トス)

其後各歩哨ノ交代兵ハ小哨ニ歸レリ依テ更ニ小哨ノ兵ヲ集合  
シ左ノ如ク又銃ヲ爲サシム

右翼ニ歩哨掛ノ又銃(銃前哨掛ト共ニ四挺)第二ハ第二ノ交代兵ノ又銃

(銃前哨ト共ニ七挺)第三ハ第三交代兵ノ銃又(同上)第四ハ第一斥候ノ又

銃(三挺)第五第六ハ第二第三斥候ノ又銃第七ハ應役兵ノ又  
銃、左翼ニ雜役兵ノ又銃(三挺)

各又銃ハ一步ノ間隔ヲ有セシム又銃シ終レハ背囊ヲ又銃ノ後  
方ニ組マシム

次ニ左ノ如ク警戒兵ヲ命ス

歩哨第二ノ交代兵、次ニ出發スヘキ斥候兵、應役兵ノ三分

ノ一ハ又銃ノ傍ニ於テ休憩スヘシ

其他ノ者ハ十五步後方ニ於テ休憩セヨ

右ノ如クニシテ全ク小哨ノ設置ヲ終レリ

此ノ如キ順序ヲ以テ小哨兵ヲシテ一タヒ各其位置ヲ占領セシ  
ムレハ新兵ハ小哨兵ノ動作ニ於テハ稍之ヲ了解スルニ至ルヘ  
シ然ル後教官ハ新兵ヲ集合シテ歩哨ノ動作ヲ見ルニ適當ナル  
位地ニ至ラシメ前二演習ニ於ケル如ク記號ヲ以テ假設敵ノ動  
作ヲ始メシメ各歩哨ハ前ニ示ス要領ニ從テ動作シ教官ハ之ヲ  
列中ノ各兵ニ批評セシメ或ハ試問シ或ハ理由ヲ言ハシムル等  
亦前ニ示スカ如シ然レトモ左ニ二三ノ問答ヲ記シテ實施ノ概  
況ヲ示スヘシ



「教」掘隣歩哨ノ連絡ハ彼ノ如クニテ適當ナルヤ

「堀」余ハ敵ノ行進方向ヲ隣歩哨ニ通知スルヲ適當ト考フ

「教」澤今守則ヲ申送リマ、アリ何レノ複哨ノ動作ヲ適當

トスルヤ

「澤」第三複哨ヲ適當トス

「教」宜シ

「教」畑何故ニ適當ナルヤ

「畑」能ク敵ニ隱蔽シアレハナリ

「教」交代兵ノ行進法ニ不同意ノ者ハ銃ヲ舉クヨ (銃ヲ

舉クス皆同意ヲ表ス)

「教」島何故ニ同意ナルヤ

「島」敵ニ見ラレサル如ク行進シタレハナリ

「教」星歩哨還リテ後報告スルハ何ノ爲メナルヤ

「星」勤務中ノ情况ヲ詳カニスル爲メナリ

「教」岡第一斥候ノ動作ニ不同意ハナキヤ

「岡」出發ノ時歩哨ニ情况ヲ問ハサルハ不可ナリ

尙此演習ニ於テ教練スヘキ課目ヲ列舉スレハ左ノ如シ

斥候ニ任務ヲ與ヘテ派遣スルコト及其復唱

巡察ヲ派遣シ及ヒ之レニ應スル歩哨ノ動作

交代兵ヲ集合スルニ尤モ迅速靜肅ナルコト

敵襲ニ當リ小哨兵ノ集合ハ尤モ靜肅ナルハキコト

此ノ如ク教練シ來レハ新兵ハ前哨勤務ニ於ケル定規ノ動作ハ

卒業セル者ト云フヲ得ヘシ何トナレハ以上ノ三演習ノ要領ヲ

確實ニ了得スレハ之ヲ實地ニ應用シテ適當ノ動作ヲ爲シ得レ



又此演習ハ敢テ遠ク地形ヲ求ムルヲ要セス練兵場ノ一隅ニ於テ十分教練シ得ヘキヲ以テ演習人員少數ノ時機、演習時間短少ノ場合ト雖トモ容易ニ之ヲ實施スルヲ得ヘク而シテ其利益ノ點ニ於テハ野外ニ於テスルモノト決シテ差異ナキヲ信スルナリ

第五 豫行演習 教練射撃ト同一ニス

此演習ハ新兵ヲシテ教練射撃ノ方法順序ヲ豫メ知得セシメ且射撃ノ要領ヲ尤モ綿密ニ教育スルノ目的ヲ以テ施行スル者ニシテ射撃掛下士ヲ以テ之ヲ擔任セシメ演習場ノ一方ニ於テ之ヲ演習ス

其ノ方法ハ教練射撃ノ時ニ於ケル者ト同一ニ實施シ同時ニ銃

及彈藥盒ヲ検査スル要領ヲ教ニ即チ其主ナル要件左ノ如シ

銃及彈藥盒ノ検査 射撃群ノ位地

發射ノ位地 射撃ノ姿勢及裝填ノ動作

彈着點ノ豫言 一歩右方ニ移ルコト

點數及彈着ノ報告 藥筈ノ検査

合格者ノ位地 射撃後ニ於ケル銃及彈藥盒ノ検査

此時ニ於テハ十米突ノ距離ニ於テ十分一楕圓的ニ對シテ照準セシメ教官ハ照準検査器ヲ用ヒテ照準及豫言ヲ點檢ス  
助手ハ旗及治痕竿ヲ以テスル記號ノコトヲ説明ス



### 第八週ニ於ケル演習ノ課目

- 一 速歩、駈歩、(執銃)
- 二 射撃 (號令ナク單發ヨリ連發及ヒ連發ヨリ單發ノ動作號令ニテ單發射撃)
- 三 行進間ノ裝填、充填
- 四 行進間ヨリ射撃ノ姿勢 (立射、膝射)
- 五 敬禮 (閱兵ノ動作)
- 六 野外演習 (斥候勤務)
- 七 豫行演習(教練射撃ト同一ノ方法ヲ以テ)
  - 第一 速歩、駈歩

執銃ニテ速歩駈歩ヲ教練ス而シテ本週ニ於テハ行進ヲ起スト

爾時ニ擔銃ヲ爲スコトヲ教練スヘシ此運動ハ銃ノ操法ト同時ニ行進ヲ起ス者ナルヲ以テ最初ニ於テハ此二様ノ動作ヲ同時ニ實施スルハ困難ナリトス故ニ決シテ其經過ヲ急クコトナク其進歩ノ度ニ從ヒ漸次確實ニ實施セシムルヲ謀ルヘシ而シテ其實施ノ方法ハ概テ前週ニ施行セシ要領ニ從ヒ號令ナク各自ニ施行セシムルヲ適當トス

駈歩ニ在テハ行進間銃口ノ甚ダシク左右ニ動搖セサルニ注意シ又其豫令ニテ正シク擔銃ヲ爲スコトニ慣レシムル爲メ先ツ各自ニ確實ニ擔銃ヲ爲サシメ次ニ行進ヲ起サシム

速歩ヨリ駈歩ニ移リ及ヒ駈歩ヨリ速歩ニ移ルノ動作ヲ教練スルニハ行進方向ニ標兵若クハ地物ヲ示シ其點ニ至レハ各自ニ其歩度ヲ變セシメ教官ハ其一側ニ在リテ絶ニス修正ヲ爲シ兵



卒十分此ノ要領ニ熟スルニ從ヒ始メテ號令ヲ以テ之レヲ實施  
セシムヘシ凡テ其實施ノ方法ハ從來爲シ來タル要領ニ從フ  
者トス

第二 射撃

現今使用ノ連發銃ニ於テ兵卒ニ尤モ熟練ヲ要スルハ連發ヨリ  
單發ニ移リ單發ヨリ連發ニ移ルノ動作ナリトス  
此動作ハ稍繁雜ナルヲ以テ十分之二熟練スルニアラサレハ勿  
卒ノ際必要ナキ時ニ於テ知ラズ雖タ其彈倉内ノ彈丸ヲ射撃ス  
ル者如キコトナキニシモアラズ又若シ此ノ動作ノ順次ヲ誤ル  
トキハ之レカ爲メ連發機關ヲ毀損セシムルニ至ルコトアリ故  
ニ此動作ハ綿密ニ教練シ確實ニ施行シ得ル如ク熟練セシメサ  
ルヘカラス

本編ニ於テ主トシテ之レヲ教練セシムルニ當リテハ  
唯其手順ヲ了解セシムルノ目的ヲ以テ其速度ヲ問ハズ又號令  
ヲ用ユルコトヲナク新兵各自ニ確實ニ此ノ動作ヲ行ハシメ  
ハ綿密ニ之ヲ教育スヘシ而シテ其隊形説明及實施ノ法ハ約  
裝填充填等ヲ教練セシ時ニ準シテ行フ可トス

又單發ノ射撃ハ前週以來實施セル豫行演習其他ノ教練ニ依リ  
號令ナク發射スルノ要領ハ稍之ニ熟練セルヲ以テ本週ニ至テ  
ハ號令ニ從テ發射スルコトヲ教練スルヲ得ヘシ程ヘテ號令ニ  
依リ直ニ所命ノ點ヲ正確ニ照準シ打テノ號令ニテ直ニ發射ス  
ルコトハ各自ニ照準シ各自ニ發射スル者ニ比スレハ尤モ困難  
ナル動作ニシテ新兵ヲシテ其號令ノ緩急ヲ自得セシメ直ニ之  
レニ應シ得ル如ク熟練セシムルハ尤モ緊要ナルコトナリトス



若シ號令ニヨリ直ニ發射シ能ハサルカ或ハ未ダ號令ナキニ已ニ發射スル如キコトハ獨リ射擊効力ナキノミナラス實ニ射擊軍紀ヲ害スルコト大ナル者トス

隊形及説明

新兵ヲ一步間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス各兵ハ狙ヘノ號令ニ依リ精神ヲ沈着シテ精密迅速ニ命スル點ヲ照準スルト同時ニ引金ノ第一段ヲ引キ、打テノ號令ニテ直ニ發射ス可シ

實施

教官ハ右翼ヨリ一人毎ニ號令ニ依リ動作セシム但シ進歩ノ度ニ應シ二三名同時ニ施行スルモ可ナリトス此教練ニ於テ教官ハ殊ニ新兵銃ヲ肩ニ着クルト同時ニ引金ノ

第一段ヲ引クコトニ注意ス可シ之レカ爲メ常ニ新兵ノ左方ニ在テ監視スルヲ便ナリトス

第三 行進間ノ裝填、充填

裝填及充填ハ停止間ノミナラス行進間ニ於テモ尤モ迅速ニ爲シ得ル如ク教練スルヲ要スルハ操典ニ明示セル所ナリ且行進間ニ於ケル動作ハ停止間ニ比スレハ稍困難ナルヲ以テ屢々之ヲ施行シテ能ク之ニ熟練セシムルヲ要ス左ノ方法ニ依リ之ヲ實施セハ兵卒ヲシテ間斷ナク動作セシメ又教官ノ修正ニ便ナル者トス

隊形及説明

新兵ヲ一步間隔ノ一列横隊ト爲シ教官ハ左ノ説明ヲ爲ス右翼ヨリ步調無ク前進ヲ爲シ上等兵ノ所(列ヨリ四五歩ノ



地ニ立ツ)ニ至レハ行進シツ、裝填(充填)ヲ爲セ(教官模範ヲ示ス)右翼兵教官ノ前ヲ通過シ終レハ次ノ兵ハ行進ヲ起シ同一ノ動作ヲ爲セ

實施

右翼ヨリ號令ナク逐次ニ右ノ動作ヲ行ヒ教官之ヲ修正ス此時尤モ迅速ニ裝填(充填)シ且歩幅、行進方向及ヒ其速度ノ變セサルコトニ注意スヘシ

第四 行進間ヨリ射撃ノ姿勢

停止間ニ於テ射撃姿勢ヲ取ルコトハ稍熟練セルヲ以テ本週ハ行進中ヨリ其姿勢ヲ取ルコトヲ教練ス之レカ爲メ最初ニ於テハ確實ニ實施セシムル爲メ號令ヲ用ユルコトナク左ノ方法ニ據リテ教練スルヲ可トス

隊形及說明

新兵ヲ一步間隔ノ一列横隊ト爲シ教官左ノ說明ヲ爲ス  
右翼ヨリ逐次前進教官ノ前ニ至レハ立射(膝射)ノ構ヘ止レノ動作ヲ爲セ(教官模範ヲ示ス)右翼兵教官ノ前ヲ去レハ次ノ者ハ直ニ行進ヲ起スヘシ

實施

各兵ハ右ノ如ク動作シ教官之ヲ修正ス

第五 敬禮

本週ニ於ケル此演習ノ目的ハ軍隊停止間ノ敬禮及閱兵ノ時ニ於ケル注目ノ要領ヲ教練スルニアリ

隊形及說明

新兵ヲシテ七八歩ノ間隔ヲ取ラシメ横隊或ハ圓陣ヲ作ラシメ



教官ハ左ノ説明ヲ爲ス

余ノ汝等ノ右(左)六歩ノ所ニ至レハ頭右(左)ヲ爲シ余ニ注目シ余ノ行進スルニ從ヒ目送ヲナシ六歩過キ去レハ頭ヲ正面ニ復スヘシ

若シ此時捧銃ヲ爲スノ敬禮ヲ演習セソトスルトキハ教官ハ新兵ニ説明スルニ捧銃ヲナシ終ルト同時ニ頭ヲ轉シテ目送シ目送ヲ終リ立銃ニ移ル前矢頭ヲ正面ニ復シ次ニ立銃ヲ爲スヘキコトヲ以テシ且其模範ヲ示スヘシ

實施

教官ハ右翼ヨリ行進ヲ始メ其注目ノ度、目送ノ要領、正面ニ復スルノ動作ヲ修正ス此時教官ハ上等兵ト共ニ行進シ上等兵ヲシテ頭ヲ正面ニスルノ動作及其後立銃ヲナスノ動作ヲ修正

セシムレハ尤モ便利ナルモノトス

第六 斥候勤務

斥候勤務ヲ適當ニ實施スルノ容易ナラサルハ論ヲ俟タス從テ之ヲ教練スルニ適當ナル順序ヲ以テシ新兵ヲシテ尤モ了解シ易カラシムルヲ勉ムルハ甚タ必要ノコトナリトス是レ實ニ此ノ勤務ヲ完全ニ實施セシムルノ要訣ナリトス  
之レカ爲メニハ前哨勤務ノ時ニ述ヘタル主旨ニ依リ成ルヘク其動作ヲ各節ニ區分シテ教練スルニアリ斥候勤務ノ經過ヲ大別スレハ左ノ四時期ニ區分スルヲ得ハシ故ニ其教育方法ニ於テモ亦此各時期ニ區分シ一演習毎ニ漸次綿密ニ教練スルヲ適當ナリトス

第一 斥候出發ノ時爲スヘキ處置及其出發



等二 斥候敵ニ遭遇セサル間ノ行進法

第三 斥候敵ヲ發見セシ時爲スヘキ處置

第四 斥候敵ヲ發見セシ後爲スヘキ處置及其行進法

本週ニ於テハ二回ノ野外演習ヲ以テ右ニ示セル第一、第二ノ動作ヲ教育スルヲ適當トス依テ左ニ其手段及ヒ方法ヲ畧述スヘシ

斥候勤務第一演習

此演習ノ目的ハ前ニ述ヘタル如ク第一ノ要件則チ斥候出發ノ時爲スヘキ處置及其出發法ヲ教練スルニアリ  
斥候ヲ差遣スルニ行軍間、戰鬪間、前哨間等ノ場合アリ然レトモ出發ノ動作ハ一ノ場合ニ於テ十分熟練スルトキハ他ハ皆之レヲ類推シテ了解シ得ヘキナリ

此演習ノ爲メニハ精兵掛將校ハ自らヲ教官トナリ下士ハ其助手ト爲ス 可トス教官タル士官ハ部隊ヲ練兵場（或ハ多少起伏アル地）ノ一隅ニ集合セシメ左ノ指示ヲ爲ス

敵ハ何村方向ニアリ我カ歩哨線ハ何地ヨリ何地ニ亘ル現在ノ地點ハ則チ第一複哨ノ在ル地ナリ

右ノ如ク指示シタル後新兵二名ヲ出シテ複哨トナシ此地點ニ配置ス此レ最初ニ於テハ小哨ヨリ出ス處ノ斥候ニ付キ其出發ノ動作ヲ教練セント欲スレハナリ

次ニ教官ハ今回ノ演習上新兵ノ動作ニ關シテ必要ナル箇條ニ付キ説明ヲ爲ス其概略左ノ如シ

此新兵部隊ハ複哨ヲ出シタル小哨兵ト想定ス

今差遣スル處ノ斥候ハ則其小哨ヨリ出セル者ナリ



凡テ斥候長ハ任務ヲ受クルヤ直ニ之ヲ複哨シ且其任務ヲ確  
實ニ配臆スヘシ

斥候出發前銃ニ裝填ヲ爲シ且ツ斥候兵ノ検査其他所要ノ約  
束ヲ爲スヘシ

斥候歩哨線ニ至レハ其歩哨ニ付キテ前地ノ情况ヲ聞キ又我  
カ行進路ヲ告知スヘシ

斥候ノ三名ハ共同動作ヲナシ又常ニ適宜ニ離隔シアルヘシ  
此ノ如ク説明ヲ爲シタル後教官ハ兵卒三名ヲ出シ之ヲ第一斥  
候トナシ左ノ任務ヲ命ス

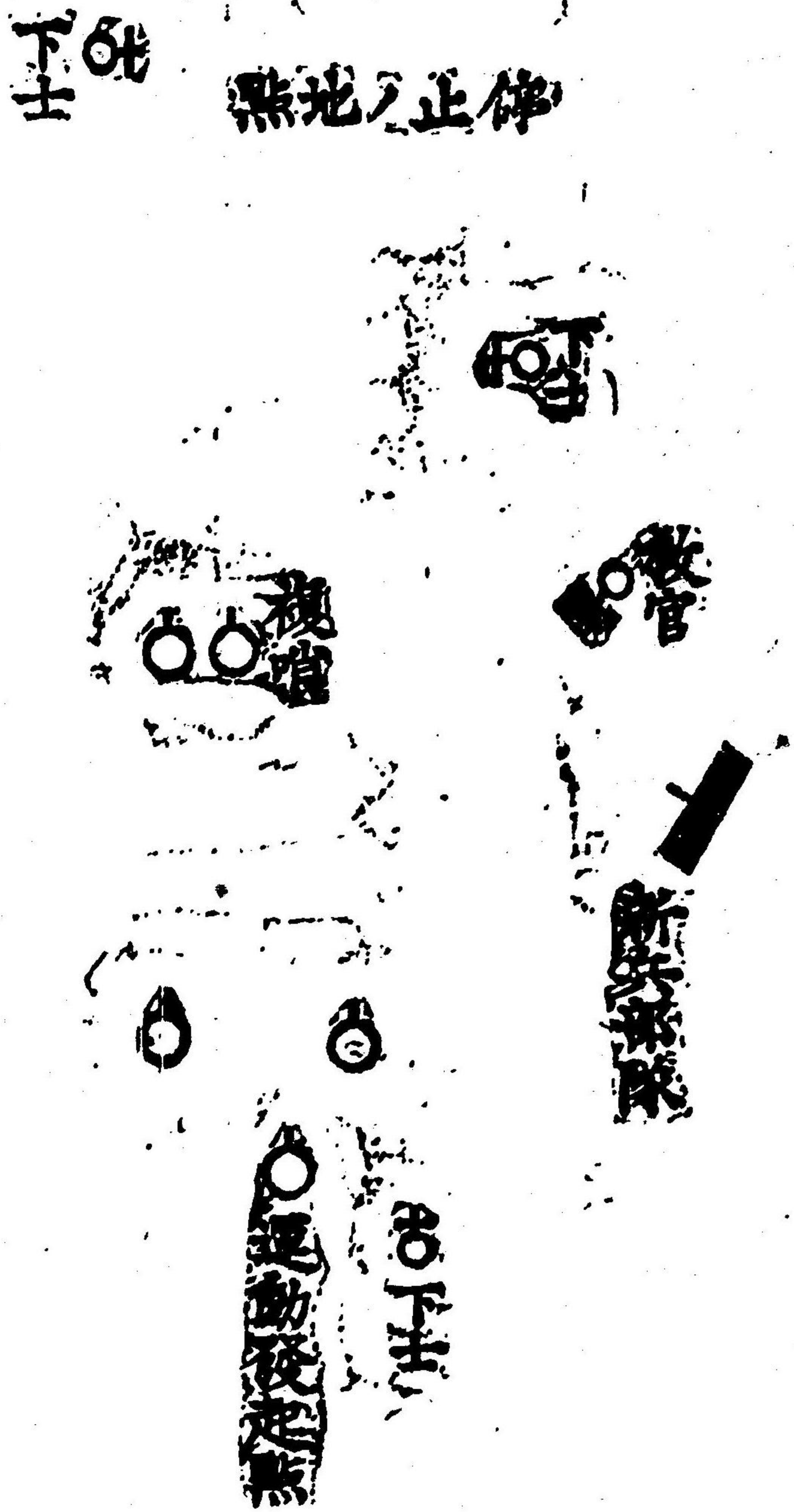
斥候ハ何村ヲ搜索シ敵ノ有無ヲ偵察シ來レ

第一複哨ノ位置ヲ通過シ約一時間ノ後歸還スヘシ

(注意) 余ノ小笛ヲ聞カハ其地ニ停止スヘシ運動ハ彼ノ

地點ヨリ始ムヘシ(歩哨ヨリ約二三十歩ノ後方)

此運動發起ノ地點、運動スヘキ地區及ヒ停止セシムヘキ地點



兵ニ關スル細部分ノ修正ヲ爲スニ任シ教官ハ專ラ全部隊ノ教



育ニ任スヘシ  
之レカ爲メ教官ハ列兵ヲシテ運動シアル斥候ノ動作ヲ見セシ  
メ其動作ニ依リテ全新兵ニ試問ヲ爲シ或ハ之レヲ講評シ以テ  
爾後實施スル新兵ヲシテ適當ノ動作ヲ爲ス如ク教育スルニ在  
リ

第一斥候ハ任務ヲ受クルヤ之レヲ複唱シ且諸準備ヲ爲スノ後  
出發シ複哨ノ地ニ至レリ次ニ二三十歩前進セリ教官ハ小笛ヲ  
以テ之レヲ停止セシメタリ下士ハ其斥候兵ノ動作ニ付キテ修  
正及教示セリ列兵ハ常ニ其動作ヲ見學セリ教官ハ列兵ニ向ヒ  
概テ左ノ如キ問答ヲ爲ス

「教」 今ノ動作ニ付キ不同意ノ者ハ銃ヲ舉クヨ（過半銃ヲ  
舉ク）

「教」 澤 ハ何故不同意ナルヤ

「澤」 三人共複哨ノ處ニ至リ敵方ニ暴露シアリシハ不同意  
ナリ

「教」 關 歩哨ノ處ニ至ルハ何ノ爲メナルヤ

「關」 敵狀ヲ聞カン爲メナリ

「教」 瀧 他ニ不同意ノ點ナキヤ

「瀧」 三人共永ク集合シテ行進セシハ不同意ナリ

「教」 洞 長ク集合シテ行進スルハ何故不可ナルヤ

「洞」 廣ク搜索スル能ハス

其他右ニ準シテ種々ノ試問ヲ爲シ他ニ教育スヘキ點ナキニ至  
レハ又三名ヲ出シテ第二斥候ト爲シ前ト同一ノ任務ヲ以テ同  
一ノ動作ヲ爲サシム（此ノ時第一ノ斥候ハ集合シテ列中ニ歸



ラシム)而シテ此斥候モ概テ前ト同一ノ地點ニ停止セシメ下士ハ其兵卒ノ動作ヲ修正シ教官ハ列中ノ新兵ヲシテ其動作ヲ批評セシメ或ハ其理由ヲ述ヘシメ若シ適當ナラサル者アレハ之ヲ教示シ之ヲ修正スル等皆前ニ示シタル者ノ如シ

「教」 源斥候長ノ位地ハ適當ナルヤ

「源」 余ハ先頭ヲ行進ス

「教」 橋ハ如何

「橋」 源ニ同意

「教」 宜シ

「教」 楠其理由如何

「楠」 早ク狀況ヲ偵知セシメ爲メ

「教」 原 隊形ハ同意ナルヤ

「原」 余ハ三角形状トナリ行進セントス

此ノ如ク現在實施セシ所ノ動作ニ依リ適當ナラサル點ニ付キ適切ノ試問ヲ爲シ或ハ適當ナル者ニアリテハ其理由ヲ試問シ新兵ヲシテ十分斥候ノ動作ヲ了解セシムルヲ謀ルヘシ之ヲ終レハ又他ノ者ヲ以テ第三斥候トナシ同一ノ動作ヲ爲サシメ順次交代シテ遂ニ列中ノ新兵盡ク之ヲ實施スルニ至ラシムヘシ而シテ右ノ動作タル複雑ノコトニアラサルヲ以テ三四十人ノ新兵ヲシテ一回ツヽ之ヲ施行セシムルハ敢テ多少ノ時間ヲ要セサルナリ

教官ハ右ノ如ク他ノ新兵ノ動作ヲ見セシメ之レニ依テ列兵ニ試問ヲ爲シ且之ヲ講評スル其利益決シテ僅少ナラサルヘシ然レトモ列兵ニ對シ一ノ試問ヲ爲スコトナク全ク實行ノミヲ以



テ教練スルモ亦適切ナル一手段ナリトス左ニ其要領ヲ概説ス  
ヘシ

教官ハ前ノ如ク實施セル斥候ノ動作ニ依リ未タ其可否ヲ説明  
セサル前矢ヲ列兵ニ向テ其ノ動作ニ不同意ノ者ヲ求メ其不同  
意者ノ内ヨリ三名ヲ取リテ斥候トナシ各其見ル所ノ意見ヲ以  
テ動作ヲ爲サシム而シテ尙此動作ニ不同意ノ者アレハ又其新  
兵ヲ以テ斥候ヲ編成シテ動作セシム此ノ如クシテ後チ教官ハ  
單ニ孰レノ動作カ尤モ適當ナルカヲ教示セハ列兵ハ教官ノ說  
明ヲ聞キテ其可否ヲ知ルヲ要セスシテ直接ニ其動作ヲ見テ其  
可否ヲ了解スルヲ得ヘシ又此手段ニ據ル時ハ説明ノ時間ヲ以  
テ直ニ實行ニ充ツルヲ得ヘク從テ新兵ヲシテ實際ニ於テ多ク  
ノ動作ヲ爲サシムルヲ得ルノ利アリ其他此ノ如キ方法ニ據ル

トキハ絶ヘス列兵ノ注意ヲ喚起シ全部隊ヲシテ常ニ自ラ斥候  
兵タルノ念ヲ保タシムルヲ得ルヲ以テ演習上大ニ利益ヲ得ル  
モノトス

若シ演習人員多クシテ永ク同一ノ想定ヲ以テ動作セシムル爲  
メ兵卒倦怠ノ念ヲ生スル患アレハ想定ヲ變換シ或ハ位地ヲ轉  
シ以テ右ト同一ノ教練ヲ爲サシムヘシ則チ其想定左ノ如シ  
汝等ハ戦闘斥候トナリ我カ左翼ヲ警戒スヘシ

或ハ

斥候ハ我右側ヲ搜索シ何村ヲ經テ何村ニ至リ本隊ニ合スヘ  
シ

此ノ如キ想定ニ依ルモ斥候出發ノ動作ニ於テハ前ノ者ト同一  
ナルヲ以テ此教練ノ目的ニ於テハ全ク同一ノ結果ヲ得ヘシ又



其方法及列兵ノ試問ハ前ノ要領ニ異ナルコトナシ  
此ノ演習ヲ終レハ兵卒ハ斥候ノ出發ニ關スル處置ハ明瞭ニ理  
解シ得タル者ニシテ本週ニ於テ野外教練一日ノ日課トシテ  
十分ノ價值アルモノトス

斥候勤務第二演習

本週第一回ノ演習ニ於テハ出發ノ動作ヲ教練シ終リタルヲ以  
テ其第二回ニ於テハ左ノ演習ヲ施行セントス  
此ノ演習ノ目的ハ前ニ述タル第二ノ要件則チ斥候敵ニ遭遇セ  
サル間ノ行進法ヲ教練スルニアリ而シテ此行進法ニ於テ又左  
ノ各種ノ場合アリトス

- 第一 開豁地ノ動作
- 第二 隱蔽地ノ動作

第三 隱蔽地ヨリ開豁地ニ出テ及開豁地ヨリ隱蔽地ニ入ル  
時ノ動作

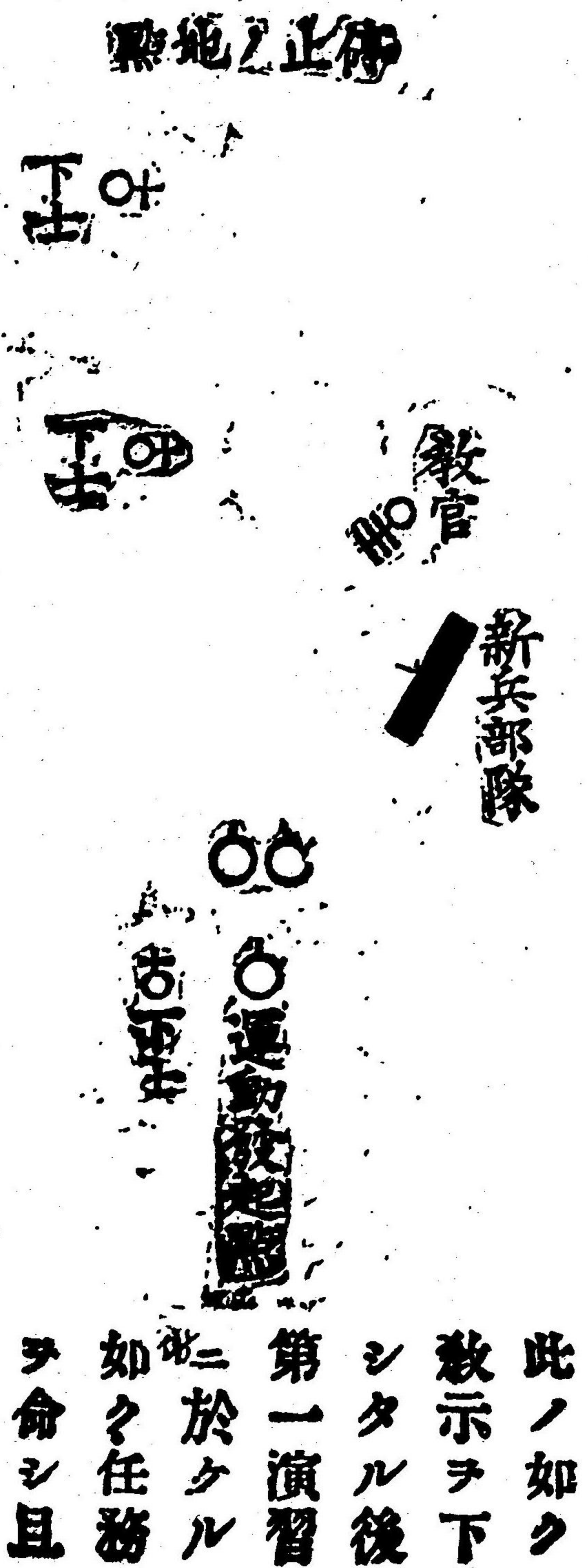
教官ハ此各種ノ場合ヲ演習スルニ尤モ適當ナル隱蔽、開豁ノ  
混合セル地區ヲ撰定シ新兵部隊ヲ其地點ニ誘導シ然ル後斥候  
ノ行進法ニ付所要ノ説明ヲ爲ス例ヘハ左ノ如シ  
斥候ハ常ニ互ニ隔離シテ行進ス而シテ其間隔ハ地形ニ應  
易容ニ應援ト交通トヲ爲シ得ルヲ度トシテ定ムヘシ  
斥候ハ通常三角形トナリテ行進ス然レトモ時トシテハ左右  
ニ併テ一線トナリ或ハ前後ニ重疊シテ行進スヘシ  
後方ヲ行進スル兵卒ハ交通兵ニシテ主トシテ側方及後方ノ  
警戒ニ任スヘキモノトス  
斥候ノ互ニ交通スルニハ記號若クハ口笛ニ依ルヘシ



斥候ハ地區毎ニ躍進スヘシ則チ巧ミニ一處蔽物ヨリ他ノ處  
蔽物ニ移轉スルヲ要ス

斥候ハ成ルヘク展望ニ便ナル隆起セル地點ヲ求メテ行進ス  
ヘシ

斥候ハ行進中常ニ諸徵候ニ注意スヘシ



教官ノ小笛ヲ聞カハ停止スヘキコトヲ約束シ直ニ運動ヲ始メ  
シム

此教練ニ於テモ第一演習ノ時ノ如ク助手タル下士ヲシテ豫メ  
斥候ノ運動ヲ始ムル地點、行進スヘキ地區停止セシメント欲  
スル地點、等ノ附近ニ配布シ以テ専ラ各兵ノ動作ヲ修正スル  
ニ任スヘシ而シテ教官ハ新兵部隊ノ傍ラニ在リテ列兵ニ試問  
シ講評スルニ任スルモノトス  
斥候ハ第一演習ニ於テ教練セシ如キ動作ヲ以テ出發ス（若シ  
動作確實ナラサレハ小笛ヲ以テ之ヲ停止セシメ更ニ他ノ新兵  
ヲ以テ動作セシムルヲ可トス）  
列兵ヲシテ皆其動作ヲ見セシメ斥候兵教官ノ教練セント欲ス  
ル目的地ヲ經過シ終ルカ或ハ經過間甚タシキ不適當ノ動作ヲ